

# 一般社団法人 日本楽譜出版協会 活動の記録

1986年(昭和61年)10月～2015年(平成27年)12月

# 日本楽譜出版協会・活動の記録

当協会は、その前身を「日本音楽出版懇話会」として1967年（昭和42年）に発足。当時の活動は主に業界内の情報交換に主眼がおかれたものであったが、楽譜を主体とした音楽出版団体として、より強力な組織にするために1986年（昭和61年）10月「日本楽譜出版協会」と改称。

1986年  
(昭和61年)

10月15日

総会開催（於：日本出版クラブ会館）

- 日本楽譜出版協会設立（Japan Association of Music Publishing）
- 日本楽譜出版協会規約制定
- 役員選出

会長 浅香 淳（音楽之友社） 理事（事務局長） 内田 豊（全音楽譜出版社）  
理事（事務局次長） 桜井 隆（リットーミュージック）  
理事（会計） 草野 功（シンコーミュージック）

☆事務局を事務局長の所属する全音楽譜出版社内に置く。

☆設立参加会員（50音順）

音楽之友社	カワイ出版	共同音楽出版社
シャープ音楽出版社	シンコーミュージック	全音楽譜出版社
東京音楽書院	ドレミ楽譜出版社	日音プロモーション
リットーミュージック	龍吟社（会員総数11社）	

- 委員会の制定

1. 返品問題対策委員会
2. 不正コピー対策委員会

11月 1日

- 新会員入会

エーティーエヌ、ケーエムピー、スコアーハウス、東京音楽社、ヤマハ音楽振興会  
(会員総数 16 社)

12月 8日

- 日本楽譜出版協会設立披露パーティ開催。

12月23日

臨時総会開催（於：日本出版クラブ会館）

- JASRACより著作物使用料規定一部変更についての通達（12月3日付）に関する説明。  
(実施は昭和62年4月1日付)。

1987年  
(昭和62年)

1月 9日

- JASRACによる説明会（JASRAC、松岡常務理事）（於：日本出版クラブ会館）

1. 著作物使用料規定の一部変更について
2. 著作権集中的処理機構設立に関する件

3月24日

- JASRACからの通知（3月24日付） 実施は昭和62年4月1日付

1988年  
(昭和63年)

- (3月24日) 昭和62年4月1日付著作物使用料規定一部変更に伴い、音楽出版物の発行部数控除について下記の通り通知あり。  
“初版分についてのみ、その発行部数の5%を控除する”
- 4月1日 ●委員会名称変更  
(旧名称) (新名称)  
1. 返品問題対策委員会 → 販売対策委員会  
2. 不正コピー対策委員会 → 著作権委員会
- 4月10日 ●「著作権の集中的処理機構に関する懇談会」宛  
「楽譜の複写使用料の徴収に関する要望書」提出。
- 9月1日 ●新会員入会  
教育芸術社、春秋社、中央アート出版社、サミーミュージック、レッスンの友社。  
(会員総数 21 社)
- 3月10日 定例会にて講演会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●講演  
テーマ：「集中的処理機構準備委員会のこれまでの経過と今後の見通しについて」  
講師：森田 正典 (日本放送出版協会総務局)
- 3月23日 ●販売対策委員会主催 講習会  
テーマ：「レコード業界の流通改革について」  
講師：倉田 豊良男 (日本レコードセンター専務)
- 4月1日 ●新会員入会  
東亜音楽社、日本放送出版協会 (会員総数 23 社)
- 5月17日 ●要望書提出  
「著作権の集中的処理機構設立準備委員会」宛  
「著作権の集中的処理機構設立準備委員会への参画についてのお願い」を提出。
- 6月14日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●販売対策委員会の中に「バーコード小委員会」を設けることに決定。  
●リットーミュージック 桜井隆氏の退職に伴い後任の事務局次長に同社の杉本和禎氏就任。
- 7月10日 ●販売対策委員会主催 見学会実施  
日本レコードセンターのレコード配送センターを視察。
- 7月12日 総会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●規約の一部改正を決定。  
☆新規に監事 1 名を設ける。
- 9月13日 総会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●役員改選 役員全員再任  
●新規監事選出 榊原三郎氏 (東京音楽書院) 就任。
- 10月1日 ●文化庁・著作権審議会第8回小委員会より「出版者の保護関係」と題する中間報告書  
発表される。
- 1月25日 研修会開催 (於：日本出版クラブ会館)

1989年  
(平成1年)

1990年  
(平成2年)

- テーマ：「消費税の仕組みと出版社の対応」について  
講師：大坪 嘉春 (税務経理協会)
- 2月 2日 総会開催 (於：伊東・川良)  
●消費税対策委員会 (プロジェクト) 発足。
- 6月30日 ●サミーミュージック退会 (会員総数 22 社)
- 7月25日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●法人化推進プロジェクトより報告  
☆ 社団法人にするための条件
1. 基本財産  
積立金 ¥3,000万円 (過去の平均=目安)
  2. 協会の活動に公益性が認められること。  
(注) 事業の目的としてこの主旨が定款に盛り込めるかどうかの問題。
  3. 定款に基づいた  
(1) 事業計画  
(2) 事業予算 を提出すること
  4. 理事の構成員 15人以上20名以内 以上。
- 9月 1日 ●新会員入会 久遠出版、東音企画 (会員総数24 社)
- 11月14日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●法人化検討委員会 (プロジェクト) 発足。
- 12月 1日 ●新会員入会 学習研究社音楽事業部 (会員総数25 社)
- 2月 1日 定例会開催 (於：伊東・川良)  
●出版者の権利 (隣接権) 創設に関する文化庁・著作権審議会 第8小委員会への要望  
書提出について決議。
- 4月 1日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●新会員入会 草楽社 (会員総数26社)
- 4月10日 ●販売対策委員会 企画 見学会。 日販・王子流通センター視察。
- 5月15日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●法人化検討委員会の見解に基づいて協議の結果、法人化については今後の課題として残し、ひとまず中断とする。  
☆理由 1. 基本財産の捻出困難。  
2. 目下のところ公益性が認められるような事業内容になっていない事。
- 6月10日 ●文化庁・著作権審議会 第8小委員会より「出版者の保護関係」と題する報告書発表  
される。
- 7月17日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●規約の改正について
1. 組織委員会を新設。(法人化委員会解散)
  2. 役員の構成を事務局次長 1 名を増やし、合計 6 名とする。
- 9月11日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●役員の改選



1991年  
(平成3年)

- 増設した新・事務局次長に野田三郎氏（ドレミ楽譜）が就任。他現役員全員再任。
- 10月 8日 ●10月 8日付 文化庁長官宛 要望書（淺香淳会長名による）提出。  
「楽譜出版者の保護関係」と題して
- 11月30日 研修会開催  
テーマ：「出版者著作権協議会設立と出版者の関係について」  
講師：原田 文夫（日本複写権センター事務局）
- 12月11日 定例会開催（於：日本出版クラブ会館）  
●12月 7日発足の「出版者著作権協議会」に団体として加入することを決定。  
（注）当協会は当面（複写権センターへの）権利の委託はしない方針とする。  
出版業界の一員として、全業界が複写問題に取り組むと言う視点から参加する。

1992年  
(平成4年)

- 2月 4日 定例会開催（於：日本出版クラブ会館）  
●1990年（平成2年）7月17日付で設立された組織委員会の委員長に榊原三郎氏就任。  
●楽器フェア参加決定。（ブースを設ける）開催日程10月18日～20日。
- 3月12日 定例会開催（於：日本出版クラブ会館）  
●1990年（平成2年）度、会員各社の楽譜の売り上げについて調査集計。  
（白紙に無記名で金額のみ記入する方法にて。）
- 4月 1日 ●「出版者複写権集中処理センター」及び「学協会著作権集中処理センターシステム」  
発足。
- 4月12日 ●販売対策委員会 企画 見学会実施。  
「大日本印刷 ハイテク出版」の現状視察。
- 5月15日 定例会開催（於：日本出版クラブ会館）  
●協会入会案内“概要”作成決定。（組織委員会）
- 9月 1日 ●MPA名簿に協会（団体）として登録。  
掲載内容：1. 協会概要 2. 役員構成 3. 会員の名簿
- 9月18日 ●9月18日付 JASRAC 宛 要望書 提出。  
現在出版使用料について、初版発行部数の5%控除の適用を受けているが、この  
控除率UP再考について要望する。
- 12月 4日 ●新会員入会 現代ギター社（会員総数27社）
- 2月 5日 総会開催（於：伊東・川良）  
●協会の組織・機構改変  
☆規約の改正  
1. 運営委員会の設置  
①. 役員と委員長で構成する（委員長欠席の場合は副委員長）当面運営委員長は置  
かず事務局長が議長を務める。  
②. 主なテーマ  
イ. 各委員会の活動状況をチェック。  
ロ. 会の運営全般と懸案事項等について協議。  
ハ. 総会・定例会に付議すべき事項について検討。  
③. 召集

運営委員会は下記の通り年5回事務局長が召集する。

毎年、 1月、3月、6月、8月、11月

2. 総会の開催

年2回 会長が召集する。

毎年 4月 決算報告と事業計画の承認。

9月 役員の改選 等。

3. 定例会の開催

年3回 会長が召集する。

毎年 2月 事業報告・新年会

7月 講習会・研修会・納涼会

12月 講習会・研修会・他イベント

4. 各委員会の開催

①. 委員会は副委員長を1名置くこととする。

②. 委員会の開催は原則として年3回とし、時期については委員長の裁量に任せる。

5. 役員会

年2回 会長が召集する。

6. 役員・委員長の選任について

①. 役員は総会で互選する。

②. 委員長は役員会が任命する。

③. 副委員長は委員長が任命する。

④. 任期は役員、委員長共に2年とする。

4月14日 総会開催（於：日本出版クラブ会館）

●日音プロモーション、シャープ音楽出版社 退会。（会員総数25社）

●協会の組織・機構改変に伴う会の運営に関して、

1. 会議の議決権は総会のみとする。

2. 全体会の名称は定例会とする。

●副委員長の発表

販売対策委員会 副委員長：秋田 直好（委員長：山里 亘）

著作権委員会 副委員長：田中 明（委員長：木村 信吾）

組織委員会 副委員長：野田 三郎（委員長：榊原 三郎）

7月16日 ●第1回 著作権講習会（著作権委員会主催）開催（於：日本出版クラブ会館）

テーマ：「山積する音楽著作権問題をめぐって」

講師：半田 正夫（青山学院大学教授）

7月16日 定例会開催（於：日本出版クラブ会館）

●不正コピー防止のための“ロゴマーク”制定決まる。

会員各社の出版物に表示する。

9月 7日 ●新会員入会 音教社、サーベル社（会員総数27社）

●役員改選 全員再任、各委員長も全員再任。

1993年  
(平成5年)

- 11月27日 ●不正コピー防止のロゴマーク、ポスター各社に配布。
- 第1回 制作実務担当者会議開催(著作権委員会主催 於:日本出版クラブ会館)  
テーマ:「特別出版使用許諾契約書」見直しの件。
- 12月8日 ●第1回 出版流通講習会開催(販売対策委員会主催 於:日本出版クラブ会館)  
テーマ:「変わる出版流通」  
講師:村上 信明(出版流通ジャーナリスト)
- 忘年会(今回を最後とする)
- 1月20日 ●出著協からの報告  
日本複写権センターと出著協との複写利用契約に日本楽譜出版協会は参加しないことについて承認された。
- 1月28日 ●草楽社・退会 1月28日付(会員総数26社)
- 2月5日 ●楽器店対象アンケート実施要項案まとまる。(販売対策委員会)
- 6月29日 ●第2回 制作実務担当者会議開催(著作権委員会主催 於:日本出版クラブ会館)  
テーマ:「特別出版使用許諾契約書改定について」
- 7月13日 ●第2回 著作権講習会(著作権委員会主催)  
テーマ:「著作隣接権とその周辺」  
講師:半田 正夫(青山学院大学教授)
- 9月14日 総会開催(於:日本出版クラブ会館)  
●規約の改正について  
1.制作委員会を新設。  
2.組織委員会の活動内容一部変更。  
☆親睦会・ゴルフコンペ等を会員の福利厚生の一環としてとらえ、これを組織委員会の担当事業とする。
- 日本楽譜出版協会の“概要”製作決定。
- 9月14日 ●第2回 出版流通講習会(販売対策委員会主催 於:日本出版クラブ会館)  
テーマ:「再販制度と現段階における問題点」  
講師:辻 吉彦(経済・法学者・公正取引委員会首席審判官歴任)
- 11月4日 ●楽器フェア出展  
☆協会概要・不正コピー防止ポスター・チラシ  
☆各社P/R用チラシ等会場にて配布。
- 12月7日 定例会開催(於:日本出版クラブ会館)  
●バーコード採用について  
協会としてJANコード採用に決定。
- 1994年  
(平成6年) 2月7日 定例会開催(於:伊東・川良)  
●1993年(平成5年)9月14日付で設立された制作委員会の委員長に山沢重雄氏。副委員長に小畑卿昭氏就任。  
●JANコード  
実施のためのマニュアル配布。(バーコード委員会)1997年(平成9年)4月を目途に実施する。  
●音教社 退会(会員総数25社)

1995年  
(平成7年)

- 7月27日 ●第3回 著作権講習会 (著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館)  
テーマ：マルチメディアと著作権  
講師：半田 正夫 (青山学院大学教授)
- 9月21日 総会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●役員改選 全員再任 各委員長全員再任。
- 9月21日 ●第3回 出版流通講習会 (販売対策委員会主催)  
テーマ：出版流通とVAN構築について  
講師：黒木 重昭 (小学館特販部部長) / 平川 恵一 (筑摩書房・経理部課長)
- 8月 1日 ●新会員入会 ヤマハ・ミュージック・メディア 8月1日付。(会員総数26社)
- 12月 1日 ●日本楽譜出版協会「概要」第2刷できる。
- 1月18日 ●JASRACへ要請書提出「不正複製防止のための啓蒙運動継続について」
- 2月 2日 定例会開催 (於：伊東・川良)  
●関西大震災 義援金として金10万円を日本赤十字社へ寄託することを決議する。
- 3月15日 ●第4回 出版流通講習会 (販売対策委員会主催 於：日本出版クラブ会館)  
テーマ：「出版流通と再販制を考える」 海外の再販制の現状報告とからめて。  
講師：村上 信明 (出版流通ジャーナリスト)
- 3月24日 ●第1回 著作権委員会・制作委員会共催による研修会開催。(於：出版クラブ会館)  
テーマ：「マルチメディア時代の出版 ～ 現在の姿とこれから」  
第1部 マルチメディアと印刷・パッケージ型ソフトの活用、知的財産権 他  
講師：空閑 明 (共同印刷(株)技術本部情報システム開発部長)  
第2部 印刷会社のDTP/現在の技術と今後の技術  
データベースの再利用2次利用  
オンデマンド・プリンティングと新しい出版形態の可能性  
講師：黒岩 信司 (錦明印刷技術本部長)  
第3部 編集面から見たデジタルプリプレス  
組版の仕組み  
入稿のフォーマット  
コンピュータ版下からデータベースへ、 他  
講師：平田 潤 (JMC音楽事務所代表)
- 4月12日 ●楽器店配布のアンケート集計まとまる。
- 7月20日 ●第4回 著作権講習会 (著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館)  
テーマ：「著作者人格権を考える」  
講師：半田 正夫 (青山学院大学教授)
- 8月 1日 ●三友社出版株式会社による無断出版発覚。
- 9月 1日 ●新会員入会 東京書籍 (会員総数27社)
- 9月12日 ●JASRAC宛 要望書 提出「著作物の出版使用に関する取り扱いについてのお願い」  
1. 許諾証紙の貼付免除。  
2. 出版使用料の支払いを請求書受領後30日以内とする。  
以上2点を加盟社全会員社に適用すること。

1996年  
(平成8年)

- 9月12日 ●三友社出版の無断出版に関する対応策。  
弁護士(大武和夫)に依頼することを決定。
- 9月30日 ●協会概要 第3刷仕上がる。
- 10月26日 ●楽器フェア出展 10月26日～29日
- 10月13日 ●三友社出版 宛 大武弁護士名による「警告書」送付(10月13日付)
- 10月29日 ●楽譜コピー「ガイドブック」製作。
- 12月 5日 ●新会員入会 プレンデュース(会員総数28社)
- 12月25日 ●三友社出版・無断出版の件に関し、当協会との間で和解成立。(12月25日付)
- 1月31日 ●三友社出版より和解の条件に基づき当協会への版面に関する損害金支払い開始。
- 2月 8日 定例会開催(於:箱根湯本)
- 協会設立10周年に当たりパーティーを開催することに決まる。(当年9月)
- 商法改正に伴う「最低資本金制度」に関して対応を確認。
- 4月10日 総会開催(於:出版クラブ会館)
- 三友社出版よりの申し入れによる楽譜の重版についての条件を1頁1,000円とし、関係各社に全額分配する。
- 組織委員会より  
選挙制度細則原案についての説明あり。
- 5月14日 ●文化庁文化部著作権課法規係より  
「著作権法改正検討事項に関する意見について」照会のあった以下の事項について当協会の意見書を提出。
1. 著作隣接権の遡及について
  2. 執行・罰則規定の整備について
  3. 写真の保護期間の延長について
  4. 著作権の保護期間の延長について
  5. 附則第14条の廃止について
- 6月 4日 ●下諏訪「童謡・唱歌を歌う会」製作の歌集『集い』の無断出版・長野日報新聞・信濃毎日新聞記事から発覚。
- 6月 7日 ●「文化庁文化部著作権課法規係」宛  
著作権法改正検討事項に関する意見書提出。(6月7日付)
- 7月19日 定例会開催(於:日本出版クラブ会館)
- 電子カタログ研究会(マルチメディア小委員会)を販売対策委員会の小委員会として発足を決める。
- 97年度開催予定の楽器フェアに関する準備委員会を発足。
- 7月19日 ●第5回 著作権講習会(著作権委員会主催)(於:日本出版クラブ会館)  
テーマ:「出版の概念の変遷」  
講師:半田 正夫(青山学院大学教授)
- 8月 9日 ●下諏訪「童謡・唱歌を歌う会」製作の歌集『集い』の無断出版に関して関連記事を掲載した、長野日報新聞、信濃毎日新聞 宛「要望書」提出。(8月9日付)
- 9月 1日 ●新会員入会 自由現代社、ミュージックランド(会員総数30社)

1997年  
(平成9年)

- 9月11日 総会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●役員改選 全員再任  
各委員長の選任 制作委員会 島 茂雄氏任命 他 全員再任
- 9月11日 ●協会設立10周年パーティーを開催 (於：日本出版クラブ会館)
- 12月 1日 ●新会員入会 教育出版 (会員総数 31 社)
- 12月 3日 ●第 5 回 出版流通講習会開催 (販売対策委員会主催 於：日本出版クラブ会館)  
テーマ：「出版における電子化の動向 マルチメディアと出版」  
講 師：三浦 勲 (情報ビジネス・コンサルタント)
- 12月 3日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●消費税率変更に伴う定価表示について  
定価〔本体〇〇〇円＋税〕 とする。  
97年4月 1 日より書籍 (書協・取次) 関係も外税を採用する。  
●マルチメディア小委員会 (電子カタログ研究会) を委員会として独立させる方向で検討する。
- 2月 6日 臨時総会開催 (於：伊東・川良)  
●情報事業委員会を新設することに決まる。(マルチメディア小委員会解散)  
●消費税率変更に伴い  
(イ) 店頭用ポスターを作成  
(ロ) 定価表示の再確認  
●組織委員会の今後の事業計画として  
「会報」を年 2 回 (5月・10月) 発行することを決定。
- 4月 9日 ●第6回 出版流通講習会開催 (販売対策委員会主催 於：日本出版クラブ会館)  
テーマ：「最近の音楽ソフトの流通と将来の展望」  
楽譜出版のこれからの流通の在り方を考える  
講 師：倉田 豊良男 (日本レコードセンター会長)
- 4月 9日 総会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●新体制発足に伴い、各委員会の構成員を再編成する。  
●各委員会の副委員長を二人制に改める  
組織委員会 委員長 野田 三郎 副委員長 杉本 和禧・工藤 勲  
販売対策委員会 委員長 草野 功 副委員長 吉開 狭手臣・本橋 慎弥  
著作権委員会 委員長 木村 信吾 副委員長 田中 明・菅原 敏彦  
制作委員会 委員長 島 茂雄 副委員長 小畑 卿昭・松野 満男  
情報事業委員会 委員長 山里 亘 副委員長 福田 成康・河村 純一
- 4月20日 ●会員各社代表者宛 “統一商品マスタ作成に関する協力” のお願い送付。
- 5月16日 ●平成 9 年度著作権研修会開催 (著作権委員会主催 於：虎の門教育会館)  
「出版社と音楽著作権」〈春期〉  
演題及び講師  
1. 出版社の歴史と音楽著作権 (淺香 淳/日本楽譜出版協会 会長)  
2. 作曲家からみた音楽著作権 (西村 朗/作曲家)  
3. 著作権の基礎知識 (三浦 正広/岡山商科大学助教授)

4. 編集業務と著作権 (松野 満男・田中 明/著作権委員会)
- 5月29日  
~30日 ●日本図書館協議会・総会及び館長懇談会開催 (於:紀ノ国屋書店セミナールーム)  
☆館長懇談会の部  
テーマ:「我が国の楽譜出版界の現況と音楽図書館界」と題する“プレゼンテーション・ディスカッション”に参加。(河村純一・福田成康/情報事業委員会)  
発表の内容  
1. 日本楽譜出版協会の概要。  
2. 委員会組織  
3. 協会の主な活動内容  
4. 楽譜流通  
5. 情報事業委員会 設立の背景  
6. 情報事業委員会 活動実績  
7. 情報事業委員会 今後の予定  
8. 版面権の主張  
9. 音楽図書館との連携 (可能性)
- 6月1日 ●協会・会報創刊号発行
- 7月18日 ●第6回 著作権講座開催 (著作権委員会主催 於:ダイヤモンド・ホール)  
テーマ:デジタル化時代の著作権 (WIPO新条約など国際的動向を踏まえて)  
講師:半田 正夫 (青山学院大学教授)
- 9月9日 ●文化庁文化部著作権課指導調整係  
著作権審議会、権利の集中管理小委員会専門部会より「著作権等の集中管理制度に関するアンケート調査」についての依頼を受ける。
- 9月11日 通常総会開催 (於:日本出版クラブ会館)  
●情報事業委員会より「楽譜商品マスタ提出のお願い」が会員各社に配布され商品別のデータ提出の要請が行われた。  
●「日本楽譜出版協会・活動の記録」完成。会員各社に配布。
- 10月22日 ●1997年(平成9年)9月9日付文化庁文化部著作権課指導調整係、著作権審議会、権利の集中管理小委員会専門部会より依頼のあった「著作権等の集中管理制度に関するアンケート調査」に対する回答書を提出する。
- 10月23日  
~26日 ●第15回 '97楽器フェアが開催される。(会場:池袋サンシャインシティ)  
当協会はアコースティック楽器ゾーンにブースを設け協会「概要」と会員各社の新刊案内(B5ペラ)を一冊にまとめた総合新刊案内を入場者に配布した。  
出展社総数204社・入場者総数105,616名。イベント関係 64社183回(小間内イベントを含む)
- 11月14日 ●1997年度(平成9年)著作権研修会開催(著作権委員会主催 於:ダイヤモンドホール)  
「出版社と音楽著作権」(秋期)  
演題及び講師  
1. ネットワーク化と音楽著作権  
〈インターネット等「伝送系メディア」で音楽を使用する場合〉(近藤 聡/



1998年  
(平成10年)

- JASRAC 送信部ネットワーク課課長)
2. 作曲家の日常と著作権のかかわり (新実 徳英/作曲家)
  3. ケーススタディー〈その1〉  
「著作権トラブルにまつわる実例から」(大武 和夫/弁護士)
    - ① 著作物に要求される「創作性」の意味
    - ② 著作権の登録制度
  4. ケーススタディー〈その2〉  
「制作現場の実例から」(木村 信吾・田中 明/著作権委員会委員)
- 11月28日 ●浅香 淳会長 '97年度文化庁長官表彰を受賞(於:如水会館)
- 11月30日 ●株式会社ショパン 退会(会員総数30社)
- 12月 2日 定例会開催(於:日本出版クラブ会館)
- 制作委員会・委員長に 松野 満男氏(カワイ出版)、副委員長に 古川 亨氏(音楽之友社)がそれぞれ就任。
  - 学習研究社、担当者が島 茂雄氏より広重 雅人氏に変わる。
  - 1998年(平成10年)2月開催予定の定例会に関する件。
    - (1) 文化庁長官表彰を受賞された浅香淳会長に記念品を贈ることに決まる。
    - (2) ミュージックトレード社の桜井行於社長をオブザーバーとして招待することに決まる。
- 12月 2日 ●協会・会報2号発行
- 12月11日 ●AMEIで行われたプレゼンテーション・ディスカッションに参加。(河村純一・福田成康/情報事業委員会 於:AMEI事務局)
- テーマ:「日本楽譜出版協会とAMEIとの連携について」
- 発表の内容
1. 日本楽譜出版協会の概要
  2. 委員会組織
  3. 協会の主な活動内容
  4. 楽譜流通
  5. 情報事業委員会 設立の背景
  6. 情報事業委員会 活動実績
  7. 情報事業委員会 今後の予定
  8. 版面権の主張
- 1月14日 ●日本複写権センターより「複写使用料第1回分配」が実施される。  
出版者著作権協議会 → 日本楽譜出版協会宛 再分配
- 2月 5日 定例会開催(於:伊東・川良)ミュージックトレード社長 桜井 行於氏オブザーバーとして出席
- 情報事業委員会 委員長に梶 吉宏氏(音楽之友社)就任。
  - 組織委員会より「役員選挙細則」の原案が提出される。
  - 制作委員会より「JASRAC に対する要望書」の原案が提出される。
  - 浅香 淳会長に文化庁長官表彰・受賞のお祝いとして記念品を贈呈。
- 2月18日 ●JASRAC へ当協会の「要望書」を提出。(制作委員会)



- 2月23日 ●日本楽譜販売協会々長 伊藤 敏雄氏へ病氣見舞。(平塚病院)  
●龍吟社 荻原 豊彦社長宅へ近火見舞。
- 3月 4日 ●音楽図書館協会主催の著作権に関する研究会開催(於:民音資料館)  
1. 「知っておきたい著作権の基礎」(辻田 耕三/前NHKエンタプライズ著作権法規部長)  
2. 図書館における著作権の諸問題(大口 欽一/日本図書館協会・著作権問題委員会委員)  
3. 楽譜出版と著作権(田中 明/日本楽譜出版協会・著作権委員会委員)
- 4月 8日 通常総会開催(於:日本出版クラブ会館)  
●1998年度(平成10年度)事業計画及び予算 可決 成立。
- 5月10日 ●1998年(平成10年)2月18日JASRAC へ提出の「要望書」に対する JASRAC からの回答を受け取る。(制作委員会)
- 5月29日 ●1998年度(平成10年)著作権研修会開催。(著作権委員会主催 於:ダイヤモンドホール)  
「出版社と音楽著作権」〈春期〉  
〈楽譜出版者のための著作権入門〉  
演題及び講師  
1. 作曲家の立場から見たオリジナリティ(西村 朗/作曲家)  
2. 著作権——その見方と考え方(田中 明/著作権委員会委員)  
3. 楽譜出版 Q & A 集 ポイント解説(今井 康人/著作権委員会委員)
- 6月 1日 ●「特別出版使用許諾契約書」及び「音楽著作物使用許諾申請書」について JASRAC 改正案について検討開始(制作委員会)
- 7月14日 ●三友社より重版分、版面使用料入金
- 7月23日 ●第7回著作権講座開催。(著作権委員会主催 於:ダイヤモンドホール)  
テーマ:「デジタル化時代における著作物の保護範囲」  
〈とくにアイデア・デザイン・映像を中心として〉  
講 師:半田 正夫(青山学院大学教授)
- 7月23日 臨時総会開催(於:虎ノ門バストラル)  
1. 制作委員会 副委員長に 市川 徹氏就任。  
2. 協会 規約の改正。一部修正の上可決、成立。  
3. 役員選挙細則。一部修正の上可決、成立。  
4. 楽譜データベース構築のシステムについて。(情報事業委員会)  
第一段階として商品マスタ管理システムを確立する。管理母体を「JICFS」にすることで承認される。  
“実施に当たって”  
① 会員各社のデータ作成及びデータメンテ等の指導を(有)コム・アンド・コムに依頼する。(契約期間6ヶ月)  
② 会員各社のデータ作成担当者を対象としたデータ提出のための説明会を11月6日に行う。  
③ JICFS へのデータ提出に伴う商品の分類アイテムを11月上旬に決定する。  
④ 1999年(平成11年)4月1日本番スタートを目指す。  
5. 役員の任期満了に伴う新役員選出の選挙を管理するための選挙管理委員を3氏

に委嘱する。

松野 満男 (カワイ出版)

小畑 卿昭 (共同音楽出版社)

森島 聡 (ATN)

6. 選挙は、成立した「役員選挙細則」に基づいて行う。

7月 1日 ●協会・会報 3号発行。

7月27日 ●選挙管理委員会開催 (於：日本出版クラブ会館)

選挙管理委員長に 松野 満男氏 (カワイ出版) 就任。

9月17日 ●出版流通問題に関する研修会 (販売対策委員会主催) (於：日本出版クラブ会館)

テーマ：「出版流通システムと再販」

〈再販制度の今後の動向と対策〉

講師：木下 修 (セゾン総合研究所・企画・業務部情報・編集グループ主任研究委員)

9月17日 ●通常総会開催 (於：日本出版クラブ会館)

1. 役員改選の件。

松野選挙管理委員長より選挙の経過と結果について報告される。(選挙の告示から結果まで)

☆ 選任される役員は理事5名・監事2名を確認。

(1) 投票及び当選について

立候補の届出は理事5名、監事1名という結果になり、監事については1名の欠員が生じた。

従って役員選挙細則第25条により投票が行われず立候補者が当選人と決定し、以下の役員が選任された。

理事：梶 吉宏 (音楽之友社)

内田 豊 (全音楽譜出版社)

草野 功 (シンコーミュージック)

野田 三郎 (ドレミ楽譜出版社)

杉本 和禧 (リットーミュージック)

監事：工藤 勲 (東京音楽書院)

☆ 役員選挙細則第2条第2項により選挙管理委員会解散。

2. 理事会開催

新理事を召集。

(1) 規約第13条第5項により、責任理事 (事務局長) に内田 豊 (全音楽譜出版社) が就任。

(2) 規約第13条第6項により、担当理事が以下の通り決まる。

事務局次長：野田 三郎 (ドレミ楽譜出版社)、杉本 和禧 (リットーミュージック)

会計理事：草野 功 (シンコーミュージック)

(3) 各委員会 委員長の選任。

規約第37条により選任の結果、各委員会委員長全員再任と決定。

3. 役員選挙細則第30条改正の件。

当選人の任期は選挙後の通常総会で選任され……とあるのを「総会」で選任され〜と改める事について満場一致で可決。

4. 選挙の結果欠員となった監事1名の補充のための選挙を役員選挙細則第28条、第29条に基づいて行い、12月度の臨時総会で選任することに決まる。  
尚、規約第13条第3項及び第35条による会長並びに名誉顧問の委嘱についても同日の臨時総会にて承認を得て決定する。
5. 監事1名の補充の選挙を行うに当たり、選挙を管理するための選挙管理委員として再度、松野 満男（カワイ出版）小畑 卿昭（共同音楽出版社）森島 聡（ATN）の3氏に委嘱する。  
委員長に小畑 卿昭氏が就任。
6. 販売対策委員会  
予てより日本楽譜販売協会から要請のあった「商品流通に係わる案件」処理に関する回答案が販売対策委員会の原案通り承認される。  
尚、日本楽譜販売協会への正式な回答は、事務局長名で行う。
7. 著作権委員会  
ISMN（国際標準楽譜番号）に関する件。  
これまでの経緯についての説明と「ユーザーズ・マニュアル」が各会員社に配布される。
- 10月15日 ●日本楽譜販売協会 会長宛「商品流通に係わる案件」処理に関する報告書を提出。  
1. 平成11年4月1日以降の出版社、出荷分の商品に全てバーコードを印刷する件。  
2. 平成11年4月1日以降の流通在庫の取扱いについて。  
3. 売上げスリップにバーコードを印刷する件。
- 11月6日 ●JICFS説明会（情報事業委員会主催 於：東音ホール）  
説明：有賀真津夫（有限会社コム・アンド・コム取締役）  
飯田希久子（流通システム開発センター）
- 11月13日 ●平成10年度著作権研修会開催（著作権委員会主催 於：ダイヤモンドホール）  
「出版社と音楽著作権」〈秋期〉  
演題及び講師  
1. 時の話題と判例  
〈音楽における盗作問題とその周辺〉（大武 和夫／弁護士）  
2. ネットワーク化と著作権  
〈時代はここまで来ている〉  
a. デジタル・ネットワーク化の進展に伴う音楽著作権問題について。（近藤 聡／JASRAC 送信部ネットワーク課々長）  
b. 音楽の電子流通と権利処理。  
〈レコード・楽譜等の電子流通問題を考える〉（佐々木 隆一／リットーミュージック会長）
- 12月 9日 ●総会開催（於：日本出版クラブ会館）  
1. 役員を選出（補充選挙）  
監事：片岡 博久（ケイ・エムビー）  
立候補者が1名につき無投票で決定。  
会長：佐々木 隆一（リットーミュージック会長）

理事会の推挙により、総会で承認を得た結果、責任理事が委嘱することに決定。

名誉顧問：浅香 淳・榊原 三郎

理事会の推挙により、総会で承認を得た結果、責任理事が委嘱することに決定。

2. 各委員会の副委員長の選任（各委員長が決定）

組織委員会：杉本 和禧・工藤 勲

販売対策委員会：吉開 狭手臣・本橋 慎弥

著作権委員会：田中 明・菅原 敏彦

制作委員会：小畑 卿昭・市川 徹

情報事業委員会：福田 成康・河村 純一

3. 出著協からの複写使用料の分配金取扱いについて別途に口座を設け、特別事業積立金としてプールしておく事に決まる。

1999年  
(平成11年)

- 1月 1日 ●日本楽譜出版協会と（有）コム・アンド・コムとの間で「楽譜データベース導入研修」に関する覚書きを締結する。（注）概算払いとして¥1,000,000円支払う。
- 1月 8日 ●榊原三郎協会名誉顧問逝去される。
- 1月28日 ●日本複写権センターより「複写使用料第2回分配」が実施される。  
出版者著作権協議会 → 日本楽譜出版協会宛 再分配。
- 1月31日 ●協会・会報4号発行。
- 2月 4日 定例会開催（於：伊豆長岡 石亭）  
●“JICFS”に委託する会員各社の商品マスターは4月15日より利用開始の見通しとなる。
- 4月14日 通常総会開催（於：日本出版クラブ会館）  
●1999年（平成11年度）事業計画及び予算、可決成立。  
●新委員長・副委員長発表  
著作権委員会 委員長：田中 明（全音楽譜出版社）  
副委員長：今井 康人（教育芸術社）  
制作委員会 副委員長：森田 哲夫（音楽之友社）  
（注）木村信吾氏退職・市川徹氏の異動による。  
●慶弔慰金規定改定。承認される。
- 4月27日 ●文化庁長官 村田英樹氏宛  
「出版者の権利法制化早期実現への要望書」提出。
- 5月27日 ●平成11年度著作権研修会開催。（著作権委員会主催・於：日本出版クラブ会館）  
「出版社と音楽著作権」〈春期〉（楽譜出版者のための著作権入門）  
演題及び講師  
1. 日本著作権物語 —— プラーゲ博士の著作権活動。  
大家重夫／久留米大学法学部教授  
2. 著作権の誕生と出版者  
田中明／著作権委員会委員

3. ある出版プランに沿って：Q&A

山形朝子・今井康人・松野満男・島茂雄／著作権委員会委員

- 7月14日 定例会開催（於：日本出版クラブ会館）  
●新しい協会規約 選挙細則が完成。
- 7月31日 ●協会・会報5号発行。
- 8月27日 8月16日付で文化庁長官官房著作権課より意見照会のあった以下の事項について意見書を提出。  
1. 執行・罰則規定の整備について  
2. 著作権の保護期間の延長について
- 9月20日 ●楽譜のコピー／ガイドブック「発行された楽譜のコピーについて」改訂版発行。  
●協会「概要」の改訂版作成。
- 9月16日 通常総会開催（於：日本出版クラブ会館）  
●責任理事（事務局長）代行の件  
全音の社内の人事異動の関係で担当が替わるため。  
代行は草野功氏（シンコーミュージック）に決まる。
- 10月14日 ●第16回 '99 楽器フェアが開催される。（会場：池袋サンシャインシティ）  
当協会はアコースティック楽器ゾーンにブースを設け、以下の資料を配布した。  
1. 協会概要  
2. 各社新刊案内（B5判）総合冊子  
出展社総数191社・入場者数105,749名。
- 10月7日 ●日本楽譜販売協会・伊藤敏雄会長宛  
「最近の業界動向につて」と題し、新規参入した大手某出版社と販売協会各社との取引条件について協会見解を提出する。
- 11月18日 ●平成11年度 著作権研修会開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館）  
「出版社と音楽著作権」（秋期）（デジタル化・ネットワーク化時代の音楽出版）  
演題及び講師  
1. 最近の音楽界の動向から  
〈メガヒットの誕生とその問題点など〉（垂石 克哉／おりこんダイレクトデジタル専務）  
2. 法環境の変化  
〈メディアの多様化によって何がどう変わるか〉（半田 正夫／青山学院大学教授・弁護士）  
3. デジタル化社会と音楽出版  
〈現在と未来〉（佐々木 隆一／日本楽譜出版協会会長）
- 12月1日 ●協会・会報6号発行
- 12月2日 定例会開催（於：日本出版クラブ会館）
- 2000年  
(平成12年) 2月3日 総会開催（於：熱海 石亭）  
2000年（平成12年）度の事業計画及び予算案について審議。
- 2月10日 ●JASRAC理事長小野清子氏・出版部長桑原信夫氏宛  
JASRACによる「特別出版使用許諾契約書」の変更案に対する当協会の「提案書」を提出。

- 3月31日 ●スコアハウス退会（会員総数29社）
- 4月11日 通常総会開催（於：日本出版クラブ会館）  
●2000年（平成12年）度の事業計画及び予算可決成立。  
●新会員入会：フェアリー（会員総数30社）
- 4月11日 ●出版流通問題に関する研修会（販売対策委員会主催 於：日本出版クラブ会館）  
テーマ：「出版流通とインターネット」《楽譜のデジタル販売に向けて》〈第1回〉  
講師 植田 照雄（(株)モコム・情報システム事業部課長）
- 4月17日 ●日本楽譜販売協会 会長 伊藤敏雄氏宛  
「JICFSデータ活用のお願ひ」を提出。
- 6月 7日 ●富士ゼロックスによるデモンストレーション見学会開催（情報事業委員会主催 於：富士  
ゼロックス赤坂）  
1. 電子ファイルによるドキュメント管理  
2. オンデマンド出力機による書籍の制作  
3. 必要なコスト及び他社事例
- 7月28日 定例会開催（於：日本出版クラブ会館）  
●役員改選に伴う選挙管理委員の委嘱  
選挙管理委員  
菅原 敏彦（東京書籍）選挙管理委員長  
尾形 光一（現代ギター社）  
横田 良一（ミュージックランド）  
●大楽器祭出展について（10月7・8日予定）  
協会として参加し楽器の展示をする。  
展示についてはプリマ楽器に依頼する。
- 7月28日 ●第8回 著作権講座開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館）  
テーマ：「最近の法改正」  
〈譲渡権を中心に〉  
講 師：半田 正夫（青山学院大学教授・弁護士）
- 8月 1日 ●協会会報7号発行
- 9月19日 通常総会開催（於：日本出版クラブ会館）  
1. 新役員選出の件  
菅原選挙管理委員長より選挙の経過と結果について報告される。  
☆選任される役員は理事5名・監事2名を確認。  
(1) 投票及び当選について  
立候補の届け出は理事5名、監事2名という結果となる。  
従って役員選挙細則第25条により投票を行わず立候補者が当選人と決定し、以下の役員が選任された。  
理事：梶 吉宏（音楽之友社）  
草野 功（シンコーミュージック）  
内田 豊（全音楽譜出版社）



野田 三郎 (ドレミ楽譜出版社)  
杉本 和禧 (リットーミュージック)  
監事：片岡 博久 (ケイ・エム・ピー)  
工藤 勲 (東京音楽書院)

☆役員選挙細則第25条2項により選挙管理委員会解散。

2. 理事会開催 (新理事召集)

責任理事 (事務局長)、及び担当理事の互選を行ったが、決定できず9月27日に再度理事会を開催し決定することになる。

3. 会長・名誉顧問の委嘱の件

総会での承認を得た結果、引続き下記の二氏に委嘱することを決定。

会長：佐々木 隆一 (リットーミュージック)

名誉顧問：浅香 淳 (前協会会長)

4. 情報事業委員会の名称を「デジタル楽譜委員会」に変更する。

あらゆる分野でデジタル化・ネットワーク化が進む中、当協会も楽譜のネット配信・ネット販売化に備えて行かねばならない。

今後の活動の目的や内容が変わっていくのでそれにマッチした名称にした。

5. 新会員入会承認：オクト出版社 (会員総数31社)

9月27日

●合同理事会開催 (於：日本出版クラブ会館)

1. 平成12年9月21日、JASRAC、林出版部長より、当協会が平成12年2月10日付で提出した「特別出版使用許諾契約書改訂についての提案書」に関する検討結果の説明を受けたが、これを踏まえ、当協会が最も重視し、また、他の業界の動きに照らし、緊急性の高い「複製部数控除」の問題について集中的に討議を行うため各理事会社の代表者と担当理事による合同理事会とした。

討議の結果、これまで主張して来た「複製部数控除」に関する要求は止めて、著作権の使用料を「複製部数」に対してではなく「実売部数」に対して徴収する方式に改める様要求して行く事に決定した。

尚、当面の方策として、要望書の提出とJASRACとの合同協議会の申し入れを行うことにする。

また、この要求を一層強力に押し進めるための緊急措置として「特別対策委員会」を設け、理事全員がこれに当たることにし、理事会社以外の社に対しても参加を呼びかけることにする。

2. 先の通常総会において理事全員が再任されたのを受け、互選により責任理事 (事務局長) 及び担当理事、各委員会の委員長を以下の通り決定する。

役員

会長	佐々木 隆一 (リットーミュージック)
責任理事 (事務局長)	内田 豊 (全音楽譜出版社)
理事 (事務局長補佐)	草野 功 (シンコーミュージック)
理事 (事務局長次長)	杉本 和禧 (リットーミュージック)
理事 (事務局長次長・会計)	野田 三郎 (ドレミ楽譜出版社)

理事	梶 吉宏 (音楽之友社)
監事	工藤 勲 (東京音楽書院)
監事	片岡 博久 (ケイ・エム・ピー)
名誉顧問	浅香 淳 (前協会会長)

組織委員会	委員長	梶 吉宏 (音楽之友社)
販売対策委員会	〃	草野 功 (シンコーミュージック)
著作権委員会	〃	田中 明 (全音楽譜出版社)
制作委員会	〃	松野 満男 (カワイ出版)
デジタル楽譜委員会	〃	河村 純一 (レッスンの友社)

- 10月4日 ●日本複写権センターより、複写使用料第3回分配が実施される。  
出版者著作権協議会 → 日本楽譜出版協会宛 再分配。
- 10月6日 ●9月27日の合同理事会での決定を受け「特別対策委員会」への参加を呼びかけた結果以下の4社が加わるようになった。  
カワイ出版、ケイ・エム・ピー、東京音楽書院、ヤマハミュージックメディア。
- 10月7日  
～8日 ●大楽器祭が開催される (会場：科学技術館)  
当協会も楽譜の展示ブースを設けて参加。
- 10月18日 ●出版流通問題に関する研修会 (販売対策委員会主催/於：日本出版クラブ会館)  
テーマ：楽譜のデジタル販売に向けて (第2回)  
講師：植田 照雄 ((株)モコム・情報システム事業部課長)  
1. PDF マーチャントの概要説明  
2. デジタル販売するために
- 10月26日 ●JASRAC理事長 吉田 茂氏宛  
「出版物の著作権使用料徴収に係わる要望書」及び本件に関する「合同協議会の申し入れ書」を提出。
- 11月16日 ●文化庁長官 佐々木 正峰氏宛  
「出版物の著作権使用料徴収に係わる要望書」を提出。
- 11月17日 ●平成12年度著作権研修会開催 (著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館)  
「出版社と音楽著作権」(秋期) (21世紀の音楽出版と著作権)  
演題及び講師  
1. デジタル著作物における権利コントロールの現状と展望  
(戸叶司 武郎/デジタル時代の著作権評議会権利保護研究会・副主任)  
2. 21世紀の楽譜事業——その発展のための考察  
(佐々木 隆一/日本楽譜出版協会会長)
- 12月7日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
●理事会の報告  
1. 9月19日の通常総会で再任された役員の仕事分担については9月27日の理事会で決定し、10月3日付で各社に通知したが、梶吉宏理事 (音楽之友社) が12月末で退職されることになったので、以下の通り一部変更することになった。



2001年  
(平成13年)

新任理事 堀内 久美雄 (音楽之友社)  
会計理事 草野 功 (シンコーミュージック)  
組織委員長 野田 三郎 (ドレミ楽譜出版社)

2. 特別対策委員会の報告

対JASRACとの交渉メンバーは、委員9名の内以下の5名に決定した。

内田豊、草野功、野田三郎、松野満男、石川哲史

3. 協会設立15周年記念パーティーを今秋開催することに決定。(担当：組織委員会と当番幹事)

4. 会員各社の楽譜の売上・返品等の実績調査を平成13年2月1日の定例会にて実施する。(今回は書籍と雑誌を除き音楽教室のテキストを含む楽譜の全てとする)

12月19日 ●JASRACと特別対策委員会の第1回協議会が開催された。

1月23日 ●公正取引委員会事務総局宛

「音楽出版物の再販制度維持」に関する要望書を日本楽譜販売協会と連名で提出する。

2月 1日 定例会開催 (於：湯河原 山翠桜)

●会員各社の楽譜の売上・返品調査票回収 (注) 記載内容に不明瞭なものがあつたため無効とする。

●「著作権等管理事業法」の説明会を3月14日に開催することに決定。

2月20日 ●日本複写権センターより「複写使用料第4回分配」が実施される。

出版者著作権協議会 → 日本楽譜出版協会宛 再分配。

3月 1日 ネットワーク音楽著作権連絡協議会 (NMRC) (会長=佐々木隆一) へ加盟。

3月14日 「著作権等管理事業法」に関する説明会開催 (於：日本出版クラブ会館)

講師：郷治 友孝 (文化庁長官官房著作権課・専門職員)

4月 1日 佐々木隆一会長が「文化審議会著作権分科会専門委員」に就任。

4月12日 通常総会開催 (於：日本出版クラブ会館)

●会員各社の楽譜の売上・返品調査票回収 (結果は次回定例会で発表)

●2001年度 (平成13年度) 事業計画及び予算可決成立。

4月26日 ネットワーク音楽著作権連絡協議会 (NMRC) 対JASRACとの協議は以下の分科会ごとに行う事に決定。

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. ゲーム (送信を伴うゲーム) | 2. 映像 (映画・ビデオ関係) |
| 3. 楽譜と歌詞          | 4. モバイル          |
| 5. 使用料及び広告の取扱い    | 6. 個人利用          |

●当協会は楽譜と歌詞の分科会を担当することに決る。

担当：内田 豊 (事務局長)・河村 純一・川島 一平 (デジタル楽譜委員会 正・副委員長)

2001年 (平成13年) 4月30日現在

2001年  
(平成13年)

- 5月18日 経済産業省宛「著作権法改正に関する要望事項」提出へ  
出版者に著作隣接権を付与し、出版者の版面を利用して複写機器等による複製、電子媒体への入・出力を行う事、公衆送信を行う事等に係わる権利の創設を要望。
- 5月30日 ● ネットワーク音楽著作権連絡協議会 (NMRC) 第2回楽譜・歌詞分科会開催  
楽譜・歌詞のインタラクティブ配信に関する著作物使用料規程細則について検討
- 6月27日 ● NMRCデジタル楽譜委員会が電子透しについてAMEIを取材
- 7月10日 ● 『特別出版使用許諾契約書』の締結に関する問題でJASRACと協議 (制作委員会)
- 7月27日 ● 第9回著作権講座開催 (著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館)  
テーマ：著作権制度の過去・現在・未来 (著作権法と共に歩んだ44年をベースに)  
講師：半田正夫 (青山学院大学学長)
- 7月27日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
● JASRAC「特別出版使用許諾契約」改正の件 (制作委員会より説明)
- 8月1日 ● 協会会報8号発行
- 9月12日 通常総会開催 (於：日本出版クラブ会館)
- 9月30日 ● 東亜音楽社退会 (会員総数30社)  
● 東京音楽書院退会 (会員総数29社)
- 10月5日 ● 協会設立15周年パーティーを開催 (於：虎の門パストラル/葵の間)  
● 協会ホームページ公開
- 10月18日 ● 第17回2001楽器フェアが開催される。(会場：池袋サンシャインシティ)  
当協会は共同ブースを設け、出展希望社16社が参加  
「配布資料」  
1. 協会概要  
2. 出展16社のPR用パンフ・チラシ等展示  
入場者総数97000名
- 10月30日 ● 制作委員会では「小部数印刷製本及びインタラクティブ配信」についてのアンケートを各社に配布。
- 11月22日 ● 平成13年度研修会「出版社と音楽著作権」開催 (著作権委員会主催於：日本出版クラブ会館)  
＜新時代の著作物利用とその方法～著作権等管理事業法の施行とその後＞  
第1部 新法施行後の楽曲利用と権利処理  
(秀間修一/シンコーミュージック. 取締役 著作権部長)  
第2部 最近の複写問題とJCLSについて  
(金原優/日本著作出版管理システム 代表取締役)  
第3部 IT時代の権利処理とE-Licenseの対応  
(三野明洋/イーライセンス 代表取締役)
- 12月6日 定例会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
● 制作委員会 新委員長に森田哲夫氏 (音楽之友社)  
● 「小部数印刷製本及びインタラクティブ配信」について  
10月に調査したアンケート結果について発表 (制作委員会)

2002年  
(平成14年)

- 12月15日 ● JASRACに対して平成12年度中にJASRACが協会各社へ請求した著作権使用料の総額について報告を要請。その金額が2,619,778,400円
- 12月20日 ● JASRAC理事長吉田茂氏宛著作権等管理事業法第23条に基づいて「使用料規程」に係る協議の申し立を行う。現行の著作権使用料規定は「複製部数」に一定の料率を乗じたものを支払うこととされているが、一定の要件を満たす楽譜出版者については「特別控除」の適用等を規定すること。
- 1月20日 ● 協会会報9号発行
- 1月30日 ● 楽譜のデジタル化についてのプレゼンテーションを実施  
(デジタル楽譜委員会主催 於：ゼロックス)
- 2月7日 定例会開催 (於：箱根宮ノ下温泉武蔵野別館)  
● 新監事の選任 (工藤前監事の退職により)  
本橋慎弥 (教育芸術社) が無投票で選任された  
● 佐々木会長より「日本楽譜振興協議会」設置に関する提案が行われる。
- 4月4日 ● 著作権保護ソリューションサービス  
D-Admission についてプレゼンテーションを行う (デジタル楽譜委員会)
- 4月11日 通常総会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
● 事務局長 (責任理事) の退任に伴う後任の選任及び新理事就任について  
1. 内田豊事務局長が退任し草野功氏 (シンコーミュージック) が新事務局長に就任  
2. 内田豊理事の後任に横溝廣氏 (全音楽譜出版社) が就任  
3. 草野功会計理事の事務局長就任に伴い、後任に野田三郎氏 (ドレミ楽譜出版社) が就任  
4. 「日本楽譜振興協議会」設置検討の件  
本件については組織委員会と販売対策委員会とで検討していくことが決まる。  
5. JASRACと「著作権使用料控除」に関する協議を行うための特別対策委員会のメンバーを再編成  
草野功・野田三郎・堀内久美雄・石川哲史・杉本和禧・森田哲夫氏の6名が就任。今後の交渉に当たる。  
● 2001年度 (平成13年) 決算報告が承認される  
● 2002年度 (平成14年) 事業計画及び予算 可決成立
- 5月17日 第24回親睦ゴルフコンペ開催 (日本楽譜出版協会主催)
- 7月1日 ● 協会会報 10号発行
- 7月10日 臨時総会開催 (於：日本出版クラブ会館)  
● 規約の一部改正「事務局移転・役職名と職務・協会運営と事務の執行を分離等」  
● 総会終了後、納涼会開催 (於：神楽坂 龍公亭)
- 7月26日 ● 第10回著作権講座開催 (著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館)  
テーマ：著作権法の今後の課題 (創作と利用の狭間にあって)  
講師：半田 正夫 (青山学院大学学長)
- 8月24日 ● 大楽器祭開催 (日本楽器フェア協会主催) 於：科学技術館  
協会共同のブースを設け各社の楽譜を展示する。

9月12日	<p>通常総会開催（於：日本出版クラブ会館）</p> <p>1：役員改選の件</p> <p>堀内修選挙管理委員長より選挙の経過と結果について報告される。</p> <p>*選任される役員は理事5名、監事2名</p> <p>立候補届出は理事5名、監事2名となり役員選挙細則第25条により無投票で立候補者が当選人と決定し、以下の通り役員が選任された。</p> <p>理事：杉本和禧（リットーミュージック）堀内久美雄（音楽之友社）横溝廣（全音楽譜出版社）草野弓彦（シンコーミュージック）野田三郎（ドレミ楽譜出版社）</p> <p>監事：本橋慎弥（教育芸術社）片岡博久（ケイ・エム・ピー）</p> <p>*引き続き理事会が開催され、以下の通り担当理事が決まる。</p> <p>責任理事：杉本和禧（リットーミュージック）</p> <p>副責任理事：堀内久美雄（音楽之友社）横溝廣（全音楽譜出版社）</p> <p>会計理事：野田三郎（ドレミ楽譜出版社）</p> <p>監事：本橋慎弥（教育芸術社）片岡博久（ケイ・エム・ピー）</p> <p>2：委員会委員長の任命</p> <p>前記理事会に於いて以下の通り委員長が任命された。</p> <p>組織委員会：堀内久美雄（音楽之友社）</p> <p>販売対策委員会：片岡博久（ケイ・エム・ピー）</p> <p>著作権委員会：田中 明（全音楽譜出版社）</p> <p>制作委員会：川元啓司（カワイ出版）</p> <p>デジタル楽譜委員会：河村純一（レッスンの友社）</p> <p>3：事務局の開設について</p> <p>協会事務局を楽器会館4F：ミュージックトレード社内に業務代行という形で開設する事が決定した。</p>
10月1日	<p>●日本楽譜出版協会 事務局 開設</p> <p>東京都千代田区外神田2-18-21 楽器会館4F</p> <p>「ミュージックトレード社内に確保」</p>
10月9日	<p>●秋季研修会開催（販売対策委員会主催 於：日本出版クラブ会館）</p> <p>テーマ：物品販売から智財販売へシフトするためのアイデア</p> <p>講師：吉田達矢（デイ・キッズ取締役 制作プロデューサー）</p>
11月7日	<p>●第25回親睦ゴルフコンペ開催（日本楽譜出版協会主催）</p>
11月22日	<p>●平成14年度研修会「出版社と音楽著作権」開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館）</p> <p>第1部「著作権侵害」/大武和夫（弁護士）</p> <p>第2部 分科会</p> <p>(A) 教育目的の複製にどう対応するか 司会：今井康人</p> <p>(B) 翻訳・翻案・編曲等に於ける諸問題 司会：島 茂雄</p>
12月5日	<p>定例会開催（於：日本出版クラブ会館）</p> <p>1：全国楽器協会へ賛助会員として加盟する事が決定。</p>

2003年  
(平成15年)

- 2 : POS化について  
平成15年年初に全楽協から詳しい状況を聴取することにする。
- 2月1日 ●協会会報 11号発行
- 2月6日 定例会開催 (於:湯河原 山翠楼)
- 1 : 事務局長に内田 豊氏就任
- 2 : 会費値上げの件が提案されたが、一年間の実績を見た上で検討する事にする。
- 3 : 中間法人化について杉本氏より説明と提案がなされたが、審議未了に終わる。
- 4 : 全国楽器協会に賛助会員として入会する事が決まる。
- 2月6日 全国楽器協会に賛助会員として入会する
- 3月24日 ●参議院財政金融委員会委員長 柳田 稔氏宛「消費税の価格表示についての要望書」を提出する。
- 4月9日 通常総会開催 (於:楽器会館 会議室)
- 1 : 平成14年度決算報告・監査報告
- 2 : 平成15年度事業計画及び予算が可決成立
- 6月13日 ●全楽協 事務局長 赤間富士夫氏より「共通利用型情報基盤整備」に伴う楽譜商品マスターの登録内容確認(検証)についての要請を受ける。
- 6月23日 ●JASRAC理事長 吉田 茂氏宛  
「楽譜の著作権使用料控除に関する協議再開に係わる要望書」を提出
- 6月26日 ●全楽協POS化用マスターデータの検証について会員各社へ依頼する。  
(販売対策委員会)
- 7月1日 ●JASRAC理事長吉田茂氏宛  
「発行された楽譜」の複写・複製に関する権利の集中処理機関の設立等に関する要望書を提出。当該協議の場には、権利者及び利用者の立場から参画したい旨検討を要請する。
- 7月17日 定例会開催 (於:楽器会館 4F会議室)
- JASRACの著作権使用料控除に関する申し入れについて経過報告。
- 消費税総額表示実施についての状況説明。
- 全楽協の要請による楽器店に於けるPOS化システム構築に協力する事が決る。
- \*主旨 楽器メーカー、代理店、小売店等楽器業界全体の情報活用の近代化を促進し、顧客への商品サービスの向上を図る事を目的として「共通利用型情報基盤整備」実現を図る。
- 7月25日 ●第11回著作権講座開催(著作権委員会主催 於:日本出版クラブ会館)  
テーマ:著作権の譲渡(著作物利用契約との関連において)  
講師:半田正夫(青山学院大学 学長)
- 8月1日 ●全楽協POS化のためのマスターデータの検証について会員各社に依頼する。(その2)
- 9月9日 通常総会開催 (於:楽器会館 3F会議室)
- JASRACの著作権使用料控除に関する申し入れについて経過報告。
- 楽器フェア出展に関する詳細確認等。



9月30日	●楽器店のPOSシステム構築に向けて全楽協より提供のマスターデータの検証、修正の実施についての依頼（その3）
10月20日	●協会会報 12号発行
10月23日	●第18回2003年楽器フェア開催される。（会場：横浜みなとみらい） 協会共同のブースを設け、出店希望社15社が参加。 「配布資料」 1：協会概要 2：出展15社他18社のPR用パンフ・チラシ等を展示。 入場者総数 92,347人
11月11日	●第26回親睦ゴルフコンペ開催（日本楽譜出版協会主催）
11月14日	●6月23日付JASRAC理事長吉田茂氏宛提出した「楽譜の著作権使用料控除に関する要望書」に対する回答「出版使用料の取り扱いの見直しについて」を受理する。
11月28日	●平成15年度研修会「出版社と音楽著作権」開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館） テーマ「契約に親しもう」 演題及び講師 第1部 契約概説／大武和夫（弁護士） 第2部 ①出版契約書について／赤田繁夫（日本書籍出版協会著作出版権相談員） ②著作権契約書について／秀間修一（シンコー・ミュージック著作権部長） 第3部「編集実務における著作権物利用と契約の実際」
12月9日	●臨時総会開催（於：楽器会館 3F会議室） JASRACとの「楽譜の著作権使用料控除」に関する協議の結果に基く控除の対象及び控除率の適用等が11月14日付JASRACの回答「出版使用料の取り扱いの見直しについて」の通り全会一致で承認された。
2004年 (平成16年)	1月20日 ●4月1日より出版物の価格は、消費税を含む総額表示をする事が義務付けられているが出版物については、スリップにのみそれを表示すればよい事に決る。
	2月5日 定例会（於：湯河原石亭） 1：理事交代 横溝廣→田中 明（全音楽譜出版社） 2：新会員入会が承認される。「2月1日付」（会員総数31社） 鈴木教育出版（株）（株）デプロ 3：「消費税の総額表示実施に関するご案内」配布 4：全楽協POS化マスターデータの検証と登録について（まとめ）が提示された。
	2月17日 ●JASRACへのEDI方式による出版利用申請の手続きに関する説明会（於JASRAC）
	3月8日 ●デジタル楽譜委員会 デジタル楽譜委員会では今後以下の3つの小委員会に分けて、それぞれ活動を開始する。 *HP曲目検索検討小委員会 *QRコード&助成金対策小委員会 *版下デジタル化&MIDI対策小委員会

- 3月11日 ●全楽協の要請によるPOS用マスタデータの検証と登録について各社共5月末までに登録を実施することに決る。  
商品の登録についてはNTTデータへの直接登録する方法とミュージック・トレード社に登録を委託する方法のどちらかを選択することになった。
- 4月1日 ●消費税の総額表示が実施される。  
実施に伴い市場での周知徹底を図るため、得意先あての「案内」及び店頭で掲示する「ポスター」を作成し配布する。
- 4月1日 ●JASRACへの出版利用申請（発行申請）のEDI方式によるオンライン申請システムが構築され受付が開始された。
- 4月13日 通常総会開催（於：楽器会館 3F会議室）  
1：2004年度（平成16年）事業計画及び予算について審議。一部未了  
2：今後の活動計画、事務局の強化、中間法人化への取り組みについて提示。
- 5月10日 ●運営委員会開催（於：楽器会館 3F会議室）  
JASRACからの呼びかけによる「楽譜の不正コピー防止対策」プロジェクトへの参加について協議。
- 7月15日 臨時総会（於：楽器会館 3F会議室）  
1：龍吟社／リズム・エコー社 退会（会員総数30社）  
2：新会員入会 承認される。8月1日付（会員総数32社）  
日本基督教団出版局・アルソ出版（株）  
3：平成16年度事業予算承認される。（4月の総会で一部審議未了のもの）
- 7月20日 ●協会会報13号発行
- 7月27日 ●「楽譜コピー問題協議会」が発足。（事務局はJASRACに設ける）  
第1回設立委員会開催  
委員長：小森昭宏（JFA常任理事）  
委員：末吉保雄（現音理事）  
飯田克己（FCA事務局長）  
上 明子（日本童謡協会理事）  
杉本和禧（JAMP責任理事）  
田中 明（JAMP著作権委員長）  
事務局 平山修一（JASRAC出版部長）  
片多江邦彦（JASRAC出版課長）  
野方道子（JASRAC出版課長補佐）  
藤井 隆（JASRAC広報課長）
- 7月30日 ●第12回著作権講座開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館）  
テーマ：著作権制限規定の過去・現在・未来  
講師：半田 正夫（青山学院大学 前学長）
- 8月30日 ●文化庁長官官房著作権課宛  
著作権法改正に関する要望書を提出。（文化庁からの意見募集に対する回答）  
1：出版者の権利の早期法制化について

- 2 : 制限規定から楽譜を除外する
- 9月9日 ●楽譜コピー問題協議会「CARS」開催（於：JASRAC）
- 9月16日 通常総会開催（於：楽器会館 3F会議室）
- 1 : 役員改選の件
- 川元啓司選挙管理委員長より選挙の経過と結果について報告される。
- \*選任される役員は理事5名、監事2名
- 立候補の届出は理事4名監事2名の結果となり全員無投票で当選が決った。  
理事1名の欠員が生じた結果、選挙細則第28条に基づき補充選挙を行う。
- \*選任された役員は以下の通りである。
- 理事：杉本和禧（リットーミュージック）堀内久美雄（音楽之友社）田中 明  
（全音楽譜出版社）草野弓彦（シンコーミュージックエンタテイメント）
- 監事：本橋慎弥（教育芸術社）片岡博久（ケイ・エム・ピー）
- \*引き続き理事会を開催し以下の通り担当理事が決る。
- 責任理事 : 杉本和禧  
副責任理事：堀内久美雄  
々 : 田中 明  
会計理事 : 草野弓彦  
監事 : 本橋慎弥、片岡博久
- 2 : 委員会委員長の任命
- 前記理事会に於いて、委員長が任命された。
- 組織委員会 : 堀内久美雄  
販売対策委員会 : 片岡博久  
著作権委員会 : 今井康人  
制作委員会 : 川元啓司  
デジタル楽譜委員会：河村純一
- 3 : 協会財政改善の問題
- 財源確保のための方策についての調査票の回収が行われた。
- 10月9日 ●大楽器祭が開催される（日本楽器フェア協会主催）於：池袋サンシャインシティ  
\*協会共同ブースを設け各社の楽譜を展示する。（入場者数14,808名）
- 10月22日 ●第27回親睦ゴルフコンペ開催（日本楽譜出版協会主催）
- 11月1日 ●JASRAC「ファイル一括申請」対応開始。  
本年4月からJASRACへの出版利用申請（6月からは録音、映像利用申請も）の方法としてEDI（電子データ交換）方式によるオンライン申請が可能になったが新たに今月から「ファイル一括申請」による申請が可能になる。
- 11月25日 ●平成16年度研修会「出版社と音楽著作権」開催（著作権委員会主催）於：日本出版クラブ会館  
テーマ「引用」  
演題及び講師  
第1部 引用を考える /大武和夫（弁護士）



		第2部 著作物の引用における留意点 /樋口清一（日本書籍出版協会調査部長）
		第3部 これって引用？ /著作権委員会 司会=今井康人
	11月30日	●（有）ブレンデュース 退会 （会員総数31社）
	12月7日	臨時総会開催（於：日本出版クラブ会館） 1：会長の委嘱の件（任期満了に伴う選任） 佐々木隆一氏に引き続き会長を委嘱することが満場一致で承認された。 2：理事の補充選挙の結果、立候補が居なかったため暫定措置として、当分の間理事1名欠員のまま執行する事が全会一致で承認された。 3：協会財政改善に伴う会費徴収額（変更後）の申告について 今後の財政を改善するため通常の会費値上げとJASRACへの支払いに応じた特別会費（申告制）の2本立てにしたい旨提案がおこなわれる。結果は平成17年2月3日に各社より申告された結果により決定することになった。 4：「楽譜コピー問題協議会（CARS）の活動に関わる当協会の負担金として30万円を拠出する事が承認された。
2005年 (平成17年)	2月3日	定例会開催（於：伊東川良） 1：協会財政改善に伴う特別会費の申告書提出 2：平成17年度の事業計画及び予算案について審議
	2月20日	●協会会報14号発行
	4月21日	通常総会開催（於：楽器会館 3F会議室） 1：平成16年度決算報告が承認される。 2：平成17年度事業計画及び予算が可決成立 3：特別年会費の徴収について 本年度より実施する事について承認される。 4：欠員理事の補充に伴う新理事選出 新理事に木村信吾氏（オクト出版社）が選任された。 5：個人情報保護法の施行に伴う対応策について
	5月2日	理事会開催（於：御茶ノ水 じゅらく） 杉本氏退任に伴う後任責任理事の互選及び各役員の役割分担が以下の通り決る。 責任理事：田中明（全音楽譜出版社） 副責任理事：堀内久美雄（音楽之友社） 々：坂上晃一（リットーミュージック） 理事：木村信吾（オクト出版社） 会計理事：草野弓彦（シンコーミュージック・インタテイメント） NMR担当：坂上晃一（リットーミュージック） 監事：本橋慎弥（教育芸術社） ：片岡博久（ケイ・エム・ピー）
	5月11日	●第30回親睦ゴルフコンペ開催
	6月3日	理事会開催（於：出版クラブ会館）

	コーポレート・プラン（中期計画）策定についての協議が行われ骨子がまとまる。
6月9日	●第28回親睦ゴルフコンペ開催（日本楽譜出版協会主催）
6月22日	●運営委員会開催（於：楽器会館 3F会議室） *コーポレートプラン（中期計画）策定に向けて協議が行われ、運営委員会としての案が決る。
7月7日	定例会（楽器会館 3F会議室） 1：今後の協会活動について コーポレートプラン（中期計画）「目的、事業計画等」について前回の運営委員会で決った案についての説明が行われ原案通り承認された。 2：11月3日より開催の楽器フェアのブース出展等について説明が行われた。
7月20日	●協会会報15号発行
7月22日	●運営委員会開催（於：日本出版クラブ会館） 1：規約、役員選挙細則、慶弔慰金規定の見直しについて協議が行われ、運営委員会としての案が策定された。 2：協会概要について 先般策定されたコーポレートプランに沿って全面改訂する事になった。
7月29日	●第13回著作権講座開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館） テーマ：法人著作・職務著作 講師：半田 正夫（青山学院大学前学長）
10月12日	●運営委員会開催（於：楽器会館 3F会議室） 1：総会に付議すべき規約・役員選挙細則・慶弔慰金規定の改正案の最終確認 2：コーポレートプラン（中期計画）の最終確認 3：各委員会報告
10月18日	●DTP講習会開催（制作委員会主催 於：楽器会館 3F会議室） テーマ：DTPの基礎講座 講師：高見 久子（株式会社 帆風）
10月21日	通常総会開催（於：楽器会館 3F会議室） 1：規約・役員選挙細則・慶弔慰金規定の全面改正が、一部修正の上可決成立。 2：コーポレートプラン（今後5年間の中期計画）が承認される。
10月28日	●第29回親睦ゴルフコンペ開催（日本楽譜出版協会主催）
11月3日	●第19回2005年楽器フェア開催される。（会場：横浜みなとみらい） 協会共同ブースを設け出展希望社15社が参加。 「配布資料」 1：協会概要 2：「音楽と楽譜と森のなかまたち」不正コピー防止キャンペーン・リーフレット 楽譜コピー問題協議会＝CARs制作 3：出展15社他21社のPR用パンフ・チラシ等を展示。 入場者総数88、950人

	11月25日	<p>●平成17年度著作権研修会（著作権委員会主催）於：日本出版クラブ会館</p> <p>テーマ「著作者とは」</p> <p>演題及び講師</p> <p>第1部 著作者とは /大武和夫（弁護士）</p> <p>第2部 ホントは誰が創ったの？/著作権委員会 司会=今井康人</p>
2006年 (平成18年)	2月2日	<p>定例会開催（於：伊東川良）</p> <p>1：平成17年度予算執行状況及び平成18年度予算策定に関して</p> <p>2：協会設立20周年記念事業について</p> <p>3：全楽協宛「標準POSシステムに関する要望書」提出の件</p>
	3月20日	●協会会報16号発行
	4月19日	<p>通常総会開催（於：楽器会館会議室）</p> <p>1、平成17年度決算報告が承認される。</p> <p>2、平成18年度事業計画及び予算が可決成立。</p> <p>*出著協、CARS対策、20周年記念行事等は特別予算として別枠で計上された。</p> <p>*出著協の年会費が7万5千円から9万円に増額される件が承認される。</p> <p>3、協会はNMRCの賛助会員として加盟していたがNMRCは本年度から正会員のみで構成することになったので退会することに決定する。</p>
	5月18日	<p>臨時運営委員会開催（於：楽器会館会議室）</p> <p>テーマ：全楽協標準POSシステムに関する件</p> <p>販売対策委員会よりこれまでの経過とその要旨について以下の2点について報告がなされ協議の結果、本システムの構築に協力して行くことが決定された。</p> <p>1、楽譜販売協会がデータ登録業務を請け負うことを決定する。</p> <p>2、当協会は全楽協に対し予ねてよりデータ登録に係わる費用の負担について、要望してきたがヤマハ小売事業統括部が、POS化による実績に基づく楽譜の実売データを各出版元にフィードバックできるまでの間、月額の基本料、管理料を負担するとの回答を得るに至った。</p>
	6月26日	<p>全楽協標準POSシステム構築に関する全容が決まり、会員各社に対し商品マスターデータの新規登録及び追加登録等に関する協力要請がなされた。</p> <p>「資料」</p> <p>1、全楽協標準POS用マスターデータの登録について</p> <p>2、楽譜販売協会が登録代行を請け負う場合の条件</p> <p>3、ヤマハ小売事業統括部への月額費用等に関する件</p>
	7月21日	<p>●第14回著作権講座開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館）</p> <p>テーマ：著作物の公衆送信に係る諸問題</p> <p>講師：半田正夫（青山学院常務理事）</p>
	9月21日	<p>DTP講習会開催（於：楽器会館会議室）</p> <p>テーマ：QuarkXPress（クラシック環境とInDesign（OS-X環境）の違い</p> <p>講師：高見久子（株式会社帆風）</p>

10月1日	●協会会報17号発行
10月7日	●楽器フェスティバル（大楽器祭の名称変更）が開催される。（日本楽器フェア協会主催）
10月8日	於：池袋サンシャインシティ ☆協会共同ブースを設け各社の楽譜を展示する。 ☆楽譜販売協会と協力し特設会場を設け謝恩価格本セールが行われた。（入場者数21,491人）
10月12日	●通常総会開催（於：楽器会館会議室） 1、役員改選の件（理事については初の選挙投票が実施された） 有馬由嘉史選挙管理委員長より、選挙管理委員会組織後の経緯と投票の実施方法について説明がなされた。 ☆投票の結果以下の役員が選任された。（監事については定員同数につき無投票） 理事5名（付役割分担） 責任理事：草野弓彦（シンコーミュージックエンタテイメント） 副責任理事：片岡博久（ケイ・エム・ピー） 坂上晃一（リットーミュージック） 会計理事：岡部博司（音楽之友社） 理事：野田修市（ドレミ楽譜出版社） 監事2名 本橋慎弥（教育芸術社） 河村純一（レッスンの友社） 2、各委員会委員長の任命 臨時の理事会において委員長が任命された。 組織委員会：堀内久美雄（音楽之友社） 販売対策委員会：野田修市（ドレミ楽譜出版社） 著作権委員会：今井康人（教育芸術社） 制作委員会：川元啓司（カワイ出版） デジタル楽譜委員会：河村純一（レッスンの友社） 3、会長は引き続き佐々木隆一氏に委嘱することが決定。
10月25日	●日本楽譜出版協会設立20周年記念パーティ開催（於：虎の門パストラルホテル） 当日来賓に配布した資料 日本楽譜出版協会・活動の記録・概要・会報17号 リーフレット”知っていますか楽譜ができるまで””音楽と楽譜と森のなかまたち（CARS）”
11月8日	第31回親睦ゴルフコンペ開催（日本楽譜出版協会主催）
11月15日	「ISBNコード規格改定」に伴う13桁表示に関する「お願い」を販売対策委員会より配布。
11月24日	●平成18年度研修会「出版社と音楽著作権」開催（著作権委員会主催）於：出版クラブ会館

2007年  
(平成19年)

	テーマ：ネット時代の楽譜出版
	第1部「ネット時代にこそ確認したいこと」～コピー問題、反面権をめぐる/今井康人（著作権委員長）
	第2部「楽譜配信サイトの現場から」/秋葉慶一（ジャパンミュージックワークス）
	第3部「思わずクリック！こんなことって、していいの？」コメンテーター/大武和夫（弁護士）
12月6日	●「チェックリスト型出版目録」の制作に関するお願いを販売対策委員会より配布
1月31日	●楽譜コピー問題協議会（CARS）の制作によるリーフレット発行
2月8日	臨時総会開催（於：伊東温泉川良） 1、規約第19条改正 本会は本会の運営を円滑に推し進めるために事務局を置く 事務局には2名以内の範囲において事務局員を置くことができる。また、事務局員のうち1名を事務局長とすることができる。 事務局員の任免権は理事会が有する。また、事務局長は理事会の同意を得て責任理事が委嘱する。
	2、特別年会費の「申告書」提出の件 各社とも直近1年間のJASRACへの支払いに応じたランク（金額）の見直しをし「特別年会費申告書」を2月末までに提出する。
4月19日	通常総会開催（於：楽器会館会議室） 1、平成18年度決算報告が承認される。 2、「特別年会費」の見直しについて 再申告に基づいて集計の結果、年間総額が226万円となり前回より15万円の増収となった。 3、平成19年度事業計画及び予算が原案通り可決成立。 4、楽器フェアが、本年11月1日より4日間に亘って開催される。今回は出展ブースと販売ブースに分けて参加。販売ブースは楽譜販売協会と共催とし、「謝恩価格本」ブースも併設する。
6月18日	●協会ホームページの全面リニューアル完了。
7月13日	●第15回著作権講座開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館） テーマ：出版社と知的財産権「出版社の利益はいかに守られるか」 講師：半田正夫（青山学院大学名誉教授）
8月8日	●（株）イーライセンスと当協会との間で、（株）イーライセンスが管理する音楽著作物の「出版使用」に関する2007年4月1日付の合意書が交わされる。
10月4日	●第33回親睦ゴルフコンペ開催（日本楽譜出版協会主催）
10月23日	通常総会開催（於：楽器会館会議室） 1、ネットワーク音楽著作権連絡協議会（NMRC）への情報会員として入会する事が決定。（会費10万円） *NMRCは現在、音楽電子事業協会を筆頭に8団体が加盟しており、インタラクティブ配信における音楽利用者団体の代表としてJASRACその他の音楽著作権管理団体

		と協議し、ルール of 制定、確立を目指して活動を行っている。
		2、(株) イーライセンスとの著作権管理 (著作権使用料規程等) に関する合意書が締結される。
		3、出著協関係 現在ある複写権センター (JRRC) の使用料は1頁当り2円と定めているがこの安値は問題があるとの観点から、出著協は近々「日本著作出版権管理システム」(JCLS) と統合し、JRRCとは別の複写を管理するセンターを立ち上げる予定。
10月25日	●	「ミュージックトレード社」主催の座談会開催 (於: 東京ガーデンパレス2F) テーマ「音楽著作権と楽譜コピー問題」 ー楽譜出版と著作権管理、そして流通の立場からー *月刊「ミュージックトレード」2008年新年号に掲載 新春座談会”楽譜の無断コピー撲滅! 音楽業界挙げて実現を
11月1日 ～4日	●	第20回2007年楽器フェア開催される。(会場: 横浜みなとみらい) *協会共同ブースを設け出展希望社16社が参加 「配布資料」 1、協会概要 2、リーフレット「楽譜ができるまで」(楽譜は時代を超えた音楽メディアです) 3、リーフレット「楽譜の無断コピーが音楽の未来にピンチをまねています」 4、出展16社の他10社のPR用パンフレット、チラシ等を展示 *楽譜の販売ブース(アウトレットモール)を併設 今回は日本楽譜販売協会との共催で実施したが、販売面においても予想を上回り前回の約4倍の売上げとなる成果を得る事が出来た。入場者総数: 90,216人。
11月22日	●	平成19年度著作権研修会開催 (著作権委員会・制作委員会共催 於: 日本出版クラブ会館) テーマ: 「楽譜コピーとどう向き合うか」 第1部: 「楽譜コピーの現状～なぜコピーされるのか」(著作権委員・制作委員) 第2部: 「楽譜コピー問題の課題とその改善の方向を考える。」(大武和夫弁護士) 第3部: 「実務においてどう対処するか～ユーザーの利便性との共存を目指して～」(著作権委員・制作委員)
2008年 (平成20年)	2月7日	臨時総会開催 (於: ホテル・ラヴィエ川良) 1、出著協とJCLS (日本著作出版権管理システム) との業務統合に伴う “新・出著協” の法人設立に関する件 2、今年度の予算執行経過に関する報告 3、CARS及びNMRCの活動報告 4、チェックリスト型出版目録の制作・納品の件
	3月19日	●楽譜コピー問題協議会 (CARS) 名で毎日新聞朝刊に以下の広告を掲載した。 「STOP!! 楽譜をコピーする前に、ルール通りか確かめよう」
	4月17日	通常総会(平成20年度第1回)開催 (於: 楽器会館会議室) 1、平成19年度決算報告及び監査報告



- 2、平成20年度事業計画及び年間予算について審議  
3、関連団体(出著協、CARS、NMRC)の活動報告
- 6月6日 ●第34回親睦ゴルフコンペ開催(日本楽譜出版協会主催)
- 7月8日 ●日本音楽著作権協会(JASRAC)録音出版部長宛  
「楽譜の著作権使用料における最低使用料の取扱いに関する申し入れ」を書面で行った。
- 7月18日 ●第16回著作権講座開催(著作権委員会主催 於:日本出版クラブ会館)  
テーマ:「保護期間～著作権はいつ消滅するのか～」  
講師:半田正夫(青山学院大学常務理事)
- 9月3日 ●当協会をはじめ6団体が加盟している出著協が、かねてより設立準備を進めて来た  
「有限責任中間法人 出版社著作権協会」が9月3日付で設立された。
- 10月7日 通常総会開催(平成20年度第2回) 於:楽器会館会議室
- 1、役員改選の件  
今回は立候補者が、理事・監事ともに定員同数に付き全員無投票で再任された。  
\*臨時の理事会において新役員の職制及び各委員長が以下の通り決る。
- 理事5名  
責任理事:草野弓彦(シンコーミュージックエンタテイメント)  
副責任理事:片岡博久(ケイ・エム・ピー)  
鈴木順雄(リットーミュージック)  
会計理事:岡部博司(音楽之友社)  
理事:野田修市(ドレミ楽譜出版社)  
監事:本橋慎弥(教育芸術社)  
河村純一(レッスンの友社)
- 2、各委員会委員長の任命  
組織委員会:堀内久美雄(音楽之友社)  
販売対策委員会:野田修市(ドレミ楽譜出版社)  
著作権委員会:菅原敏彦(東京書籍)  
制作委員会:川元啓司(カワイ出版)  
デジタル楽譜委員会:河村純一(レッスンの友社)
- 3、会長は引き続き佐々木隆一氏に委嘱する事が決定。  
4、洋楽作品の最低使用料の取扱いに関するJASRACへの申し入れの経過について  
草野責任理事より説明。  
5、関連団体(出著協、CARS、NMRC)の活動報告。
- 10月25日 ●第6回楽器フェスティバルが開催される。(日本楽器フェア協会主催 於:池袋サ  
～26日 ンシャイン)  
今回は、協会展示ブースを設け、当協会の活動を広く周知するために「楽譜が出版されるまで」を大きなパネルにして掲げ、展示ブースでは「概要や楽譜の無断コピー防止」の一環として関連するリーフレットなどを配布した。  
また、販売ブース(アウトレットモール)を設けたが、観客動員の増加に伴い予想以上の成果を挙げる事ができた。全体の入場者数も23,023人と前回は7%上回る盛

2009年  
(平成21年)

- 況となった。
- 11月13日 ●第35回親睦コンペ開催（日本楽譜出版協会主催）
- 11月19日 ●(株)アイ・シー・エージェンシーが新規に著作権管理事業に参入する事になり、かねてより「出版権」に関する使用料規程について折衝して来たが、この程第二次の提案があり、運営委員会で協議の結果これを了承する事が決った。
- 11月21日 ●平成20年度著作権研修会開催(著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館)  
テーマ：「コピー時代の著作権～編集実務の基礎と応用～」  
第1部：「楽譜コピーの現状と対応」 (CARS幹事 今井康人)  
第2部：「基礎編」”楽譜出版の企画立案と著作権処理～”フローチャートを使って (著作権委員会)  
第3部：「応用編」”楽譜出版の著作権問題～ここがポイント～” (著作権委員会)
- 12月19日 ●楽譜コピー問題協議会(CARS)の臨時総会において、当協会の今井康人氏が幹事に、田中明氏が監査役にそれぞれ選任された。
- 2月5日 ●定例会開催(於：熱海・旅館立花 会議室)  
1、平成20年度の予算執行状況に関する報告。  
2、特別年会費の「申告書」提出の件、会員各社へ要請。  
3、アイ・シー・エージェンシーの出版に関する著作権使用料について、交渉の合意内容が承認される。  
4、事務局長退任に伴う事務局の今後の態勢について。  
\*会員各社へ事務局員を公募する。  
5、各委員会及び関連団体の活動報告。
- 3月31日 ●出版者著作権協議会が出版者著作権協会を経て新公益法人法に基づく一般社団法人「出版者著作権管理機構(JCOPY)」と改称された。
- 4月16日 ●通常総会開催(平成21年第1回) 於：楽器会館会議室  
1、平成20年度決算報告及び監査報告。  
2、「特別年会費」の集計結果について(2月の各社申告に基づく)年間総額は221万円と報告される。  
3、CARSの活動計画と特別拠出金について。  
CARSの活動を支援するために、平成21年度に限り定額の50万円の他に50万円を限度として特別に拠出することが決定。  
4、平成21年度の事業計画及び年間収支計画について審議。  
5、各委員会及び関連団体の活動報告。  
6、内田事務局長退任後6月1日付けで同氏に対し顧問を委嘱することが決定。  
7、グーグル(米の配信会社)の問題についての説明。
- 4月30日 ●(株)デプロ 退会(会員総数30社)
- 5月22日 ●第36回親睦コンペ開催(日本楽譜出版協会主催)
- 6月1日 ●内田事務局長退任、顧問に就任。  
●深町建男氏事務局員に就任。



7月10日	<p>●第17回著作権講座開催(著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館)          テーマ：「フェアユースその行方～ネット時代の著作権事情～」          第1部：フェアユースについて              講師：半田正夫（青山学院大学常務理事）          第2部：最近の著作権事情～判例を中心に～              講師：北村行夫（虎ノ門総合法律事務所・弁護士）</p>
10月9日	●第37回親睦コンペ開催（日本楽譜出版協会主催）
10月14日	<p>●通常総会開催（平成21年第2回） 於：楽器会館会議室</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、JCOPYの概要と日本複写権センターへの委託に関する経過説明。</li> <li>2、日本版フェアユースについて。</li> <li>3、関連団体の活動報告。</li> <li>4、各委員会活動報告。</li> </ol>
11月5日 ～8日	<p>●2009楽器フェア開催される（日本楽器フェア協会主催 於：パシフィコ横浜・展示ホール）</p> <p>前回同様に、協会展示ブースを設け、当協会の活動を広く周知するために「楽譜が出版されるまで」を大きなパネルにして掲げ、展示ブースでは「概要や楽譜の無断コピー防止」の一環として関連するリーフレットなどを配布した。</p> <p>また、日本楽譜販売協会との共催で販売ブース（アウトレットモール）を設けたが、しかし主体の「楽器フェア」は景気の影響を受けたのか、観客動員は前回を下回る結果となった。売上げは前を上回り、好調だった。全体の入場者数は一般24,606人＋業界関係者3,579人となった。従来のカウント方法を変更したため、単純比較はできない。</p>
11月13日	<p>●平成21年度著作権研修会開催(著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館)          テーマ：「ネット時代に揺れる（制限規定）」          第1部：インタラクティブ配信における楽譜配信の現状と課題。              講師：海上薫（JASRAC送信部主幹ネットワーク課課長）          第2部：やさしくわかる制限規程（基礎編）～条文にはどう書かれているの?!～              講師：大武和夫（弁護士）          第3部：やさしくわかる制限規程（実践編）～これって自由に使えるの?!～              著作権委員、コメンテーター（大武和夫弁護士）</p>
12月10日	●制作委員会の企画により第16回全日本合唱コンクール全国大会に参加した団体に対して楽譜に関するアンケートによる調査が実施された。（回収された資料は事務局に保管）
2010年 (平成22年)	<p>2月4日 ●定例会開催（於：熱海・新かどや 会議室）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、平成21年度予算執行状況に関する報告。</li> <li>2、関連団体の活動報告</li> <li>3、委員会報告</li> </ol>
3月25日	<p>●運営委員会開催（於：楽器会館会議室）</p> <p>楽譜の無断コピーの実態調査を実施することが決定した。          依頼先は「日本マーケティング・リサーチ協会」の加盟社とする。</p>

4月1日	楽譜コピー問題協議会（CARS）では4月1日付けでホームページに「楽譜・音楽書検索リスト」をアップした。
4月8日	●理事会開催（於：楽器会館会議室） 協会を法人化することが、全会一致で決議された。
4月21日	●通常総会開催（於：楽器会館会議室） 本年度の活動計画における重要事項について以下の3点が発表された。（責任理事より） 1、協会法人化を目指す。 2、楽譜の利用状況とコピーに関する実態調査 3、協会加盟社全体の年間売上高（定価）の実績調査
5月11日	楽譜の無断コピーの実態調査に参加の申し込みのあった調査会社13社に対するオリエンテーションを開催した。（於：楽器会館会議室）
6月17日	楽譜の無断コピーの実態調査に当り、指定した5社に対して個別にプレゼンテーションを行った。 同調査のプロジェクトチームで協議の結果、矢野経済研究所に依頼することが決定し、7月より調査を開始することに決まる。
7月16日	●第18回著作権講座開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館） 第1部：著作者人格権とは 講師：半田正夫（青山学院副院長・常務理事） 第2部：著作者人格権と出版社 講師：北村行夫（弁護士＝虎ノ門綜合法律事務所）
9月2日	●楽譜の無断コピーの実態調査の結果について矢野経済研究所からの報告会がおこなわれ、表記の方法に関して一部修正を依頼し終結した。
9月7日	●“「年間楽譜実売上高申告書」提出のお願い”を会員各社に送付した。
9月14日	協会法人化に伴う定款の各条項の内容が確定した。
9月17日	協会法人化に関する趣意書「協会法人化に向けて」を会員各社に送付した。
10月4日	矢野経済研究所より「楽譜利用状況とコピーに関する消費者実態調査結果」と題した楽譜ののコピー実態調査がプレスリリースされ、会員各社へも送付した。
10月7日	●通常総会開催（於：楽器会館会議室） 役員改選に伴う選挙が実施され、以下の通り新役員が選任された。 また、佐々木隆一氏に会長を委嘱することが承認された。 会長：佐々木隆一 理事：草野弓彦、片岡博久、鈴木順雄、岡部博司、本間紀幸 監事：本橋慎弥、河村純一 ●役員が選任されたのを受け、理事の互選により以下の通り職制が決定した。 責任理事：草野弓彦（シンコーミュージック・エンタテイメント） 副責任理事：片岡博久（ケイ・エム・ピー） 副責任理事：鈴木順雄（リットーミュージック） 会計理事：岡部博司（音楽之友社） 理事：本間紀幸（全音楽譜出版社）

	<p>●各委員会の委員長は以下の通り決定した。</p> <p>組織委員会 : 堀内久美雄 (音楽之友社)</p> <p>販売対策委員会 : 森島 聡 (エー・ティー・エヌ)</p> <p>著作権委員会 : 菅原敏彦 (東京書籍)</p> <p>制作委員会 : 川元啓司 (カワイ出版)</p> <p>デジタル楽譜委員会 : 河村純一 (レッスンの友社)</p> <p>●協会を法人化することが全会一致で承認された。</p>
10月28日	<p>●会員各社の申告に基づく「全30社の年間楽譜売上高」を回収し、定価に換算して約161億8千5百万円と算定した。</p> <p>●楽譜のコピー実態調査に基づき、その損害額は定価に換算して約63億7千万円と算定した。</p>
11月12日	<p>●平成22年度著作権研修会開催(著作権委員会主催 於: 日本出版クラブ会館)</p> <p>テーマ: 「もうこわくない? 著作者人格権」</p> <p>第1部: NMRCの活動と楽譜ビジネスの今後の展開 講師: 戸叶司武郎 (ヤマハ株式会社)</p> <p>第2部: 「よくわかる人格権 (出版社実務のQ&amp;A) ~どうするこんな場合」 講師: 大武和夫 (東大大学院教授・弁護士)</p> <p>第3部: 「よくわかる人格権」(出版社実務のケーススタディ)~どうするこんな問合せ コメンテーター: 大武和夫 (東大大学院教授・弁護士)</p>
12月16日	<p>●理事会開催 (於: 楽器会館会議室)</p> <p>11月17日の理事異動に伴い、以下の通り新体制が決まる。</p> <p>責任理事 : 鈴木順雄 (リットーミュージック)</p> <p>副責任理事: 片岡博久 (ケイ・エム・ピー) 本間紀幸 (全音楽譜出版社)</p> <p>会計理事 : 岡部博司 (音楽之友社)</p> <p>理事 : 木村一幸 (シンコーミュージック・エンタテイメント)</p> <p>委員長の交代について以下の通り決定した。</p> <p>販売対策委員長 森島 聡 (エー・ティー・エヌ) → 片岡博久 (ケイ・エム・ピー)</p> <p>なお、諸般の事情により、デジタル楽譜委員会は一時休会とすることが決定した。</p>
2011年 (平成23年)	<p>2月3日 ●定例会開催 (於: 熱海・新かどや 会議室)</p> <p>1、協会新体制についての説明 (鈴木責任理事)</p> <p>2、特別年会費「申告書」提出のお願い</p> <p>なお、本年4月に登記する予定の一般社団法人設立に伴い、平成23年度からの決算業務を書協から紹介された「室中公認会計士事務所」へ委託することが鈴木責任理事より発表された。</p>
4月1日	●一般社団法人として登記し、法人格を取得した。
4月14日	●運営委員会開催 (於: 楽器会館会議室)
4月14日	●理事会開催 (於: 楽器会館会議室)

5月24日	<p>●第1回定時社員総会開催（於：楽器会館会議室）</p> <p>承認事項</p> <p>第1号議案：平成22年度決算報告及び会計監査報告（承認）</p> <p>第2号議案：東日本大震災に対する義援金拠出の件（30万円を拠出で承認）</p> <p>第3号議案：広報委員会設置の件（承認）</p> <p>第4号議案：平成23年度事業計画及び年間収支予算の件（承認）</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「特別年会費」の集計結果について 集計結果は年会費含め555万円で前年度比は19万円の減となった。</li> <li>●今年度、楽器フェアが11月3日より4日間横浜パシフィコで開催されることが正式に発表された。</li> </ul>
6月16日	<p>●運営委員会開催（於：楽器会館会議室）</p> <p>各委員会の目的と事業内容が決定した。</p> <p>今年度楽器フェアにおける展示ブースはCARSと共同で設ける件が承認された。</p>
7月7日	●運営委員会開催（於：楽器会館会議室）
7月7日	●理事会開催（於：楽器会館会議室）
7月15日	<p>●第19回著作権講座開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館）</p> <p>第1部：出版権とは何か 講師：半田正夫（青山学院理事長・法学博士・弁護士）</p> <p>第2部：電子出版時代の出版社の権利とは 講師：北村行夫（弁護士・虎ノ門綜合法律事務所）</p>
8月4日	会報24号を各社に発送
9月8日	●運営委員会開催（於：楽器会館会議室） JASRACより使用料規程の改定に関する説明を聞く。
9月8日	●理事会開催（於：楽器会館会議室） 楽器フェアに配布する概要について検討する。
11月3日 ～6日	<p>●2011楽器フェア開催される（日本楽器フェア協会主催 於：パシフィコ横浜・展示ホール）</p> <p>今回の楽器フェアでは、CARSとの共同ブースとして出店した。東日本大震災後のイベントとしては、2009年とほぼ同数の入場者があり関係者も安堵したようだ。一般24,837名、業界関係者3,100名の27,900名余となった。</p>
11月25日	<p>●平成23年度著作権研修会開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館）</p> <p>☆「楽譜のネット配信と出版社～わたしたちにもできるの?!」</p> <p>第1部：「インタラクティブ配信の現状と課題」 講師：岡村克信（社団法人日本音楽著作権協会送信ネットワーク課長）</p> <p>第2部：「出版契約書と電子出版契約書」 講師：村瀬拓男（用賀法律事務所 弁護士）</p> <p>第3部：〈ケーススタディ〉楽譜配信と著作権～楽譜配信で、急に言われても困ります?1」 コメンテーター：大武和夫（東大大学院教授・弁護士）</p>

2012年  
(平成24年)

- |        |                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月1日   | ●運営委員会開催（於：楽器会館会議室）<br>●理事会開催（於：楽器会館会議室）                                                                                                                                                                                                                |
| 2月9日   | ●臨時社員総会開催（於：楽器会館会議室）<br>承認事項<br>第1号議案：監事選任の件（久保貴靖氏を選任）<br>本橋慎弥氏（教育芸術社）の退職に伴い、後任の監事の選挙が行われ、久保貴靖氏（株式会社フェアリー）が、無投票で当選し、全会一致で選任された。<br>報告事項<br>1. 「楽譜出版者の役割と固有の権利について」と題した冊子が完成し、配布された。<br>内田顧問より説明がなされた。<br>1) 平成11年度「年間売上高申告書」提出の要請。<br>2) 出版契約書の実態調査の要請。 |
| 3月31日  | (株)NHK出版 退会                                                                                                                                                                                                                                             |
| 4月19日  | ●運営委員会開催（於：楽器会館会議室）<br>●理事会開催（於：楽器会館会議室）                                                                                                                                                                                                                |
| 5月17日  | ●定時社員総会開催（於：楽器会館会議室）<br>承認事項<br>第1号議案：平成23年度決算報告及び監査報告（承認）<br>第2号議案：平成24年度事業計画及び年間収支予算の件（承認）<br>第3号議案：社団法人著作権情報センターへの賛助会員として入会の件（承認）<br>報告事項<br>「楽譜出版者の役割と固有の権利について」の冊子が以下の雑誌に掲載された。<br>レッスンの友、M・トレード、新文化通信、<br>コピーライト（著作権情報センター発行）                     |
| 7月20日  | ●第20回著作権講座開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館）<br>第1部：デジタル・ネットワーク化時代の出版社と著作権<br><br>講師：半田正夫（青山学院大学名誉教授・法学博士・弁護士）                                                                                                                                                    |
| 10月30日 | ●運営委員会開催（於：楽器会館会議室）<br>●理事会開催（於：楽器会館会議室）                                                                                                                                                                                                                |
| 11月16日 | ●平成24年度著作権研修会開催（著作権委員会主催 於：日本出版クラブ会館）<br>第1部：「レコード製作者の権利に関する管理業務と違法対策」<br>講師：楠本靖（（一社）日本レコード協会法務部副部長）<br>第2部：「よくわかる著作権隣接権～何が変わるの？」<br>講師：大武和夫（東京大学大学院教授・弁護士）<br>第3部：「〈ケーススタディ〉ある日、著作権隣接権が…～どうなるの?! 楽譜出版～」<br>コメンテーター：大武和夫（東京大学大学院教授・弁護士）                 |
| 12月4日  | ●理事会開催（於：楽器会館会議室）<br>●臨時社員総会開催（於：楽器会館会議室）                                                                                                                                                                                                               |



2013年  
(平成25年)

## 報告事項

1. 文化庁長官宛に提出の「楽譜出版者への著作権隣接権付与」に関する要望書の件  
●「楽譜出版者の著作権隣接権」創設に関して以下の4団体の賛同を得るため、その趣旨説明を行ったことについて報告。  
日本音楽作家団体協議会（FCA）、日本音楽出版社協会（NPA）、  
日本音楽著作権協会（JASRAC）、楽譜コピー問題協議会（CARS）
2. 楽譜コピー問題協議会の事務局の所在地を平成25年4月1日付で当協会事務所へ移転する件に関する報告。

## 要請事項

- ジャンル別楽譜検索の見直しについて会員各社に要請。

- 12月18日 ●文化庁長官宛に「楽譜出版者への著作権隣接権付与」に関する要望書を提出。
- 1月23日 ●文字・活字文化推進機構 第1回運用ガイドライン委員会開催（於：講談社）
- 2月5日 運営委員会・理事会
- 2月7日 「出版物に関する権利検討委員会」第一分科会（第1回）（小学館）
- 2月21日 文化庁著作権課ヒアリング（音友、全音）オブザーバーに内田顧問
- 2月25日 「出版物に関する権利検討委員会」第一分科会（第2回）（集英社）
- 3月11日 日本インフラセンター「第3回パブリッシャーズフォーラム」（講談社）
- 3月13日 「出版物に関する権利検討委員会」第一分科会（第3回）（出版会館）
- 4月4日 第7回「印刷文化・電子文化の基盤整備に関する勉強会」傍聴（衆院会館国際会議室）
- 4月18日 運営委員会・理事会
- 4月26日 文字・活字文化推進機構「出版物に関する権利検討委員会」傍聴（小学館）
- 5月13日 文化審議会著作権分科会出版関連小委員会（第1回）（文科省旧庁舎6階講堂）
- 5月20日 「出版物に関する検討委員会」第4回分科会
- 5月23日 2012年度定時社員総会（楽器会館）、懇親会（東京グランド・パレス）  
新役員は片岡氏が副理事長を退任し理事へ、木村氏が副理事長・会計理事兼任、  
販売対策委員長は片岡氏が退任し、後日選出することとなった。  
なお、他の理事及び各委員長は留任とした。
- 5月29日 文化審議会著作権分科会出版関連小委員会（第2回）（グランドアーク半蔵門）
- 6月13日 文化審議会著作権分科会出版関連小委員会（第3回）（文部科学省講堂）
- 6月14日 理事会
- 6月24日 文化審議会著作権分科会出版関連小委員会（第4回）（一ツ橋講堂）
- 7月4日 JCOPYへの委託について説明会開催
- 7月5日 文化審議会著作権分科会出版関連小委員会（第5回）（東海大学校友会）
- 7月18日 文化審議会著作権分科会出版関連小委員会へ意見書提出。
- 7月19日 著作権講座（出版クラブ会館）  
テーマ デジタル時代の出版社の権利  
第一部 デジタル時代の出版権の課題と展望（半田正夫）  
第二部 「出版者の権利の在り方に関する提言」について（福井健策）
- 7月29日 文化審議会著作権分科会出版関連小委員会（第6回）（東海大学校友会）



2014年  
(平成26年)

9月5日	文化審議会著作権分科会出版関連小委員会（第7回）（東海大学校友会）
9月20日	販売対策委員会
10月24日	文化審議会著作権分科会出版関連小委員会へパブリックコメント提出
10月30日	文化芸術振興議員連盟・文化芸術推進フォーラム主催シンポジウム 「文化省の創設を考える」
11月14日	販売対策委員会（片岡委員長から木村委員長への引継）
11月15日	著作権研修会（出版クラブ会館） テーマ 電子出版時代の〈出版権〉～出版権の契約ってどうなるの?!～ 第一部 出版物の複写に関する委託管理業務と今後の展望（早川義英） 第二部 もう一度確かめたい。出版権～電子出版に取り組む前に～（大武和夫） 第三部 電子出版時代到来（ケーススタディ）（著作権委員）
11月22日	会員社のための講座「楽譜の用紙について」（内田 豊）
11月25日	文化審議会著作権分科会出版関連小委員会（第8回）（東海大学校友会）
11月26日	文字活字文化推進機構「海外事業者に公平な課税適用を求める公開フォーラム」
12月4日	販売対策委員会（楽譜・音楽書祭りについて販売協会大橋会長、西澤氏と調整）
12月19日	理事会（内田顧問、深町事務局員退任）
12月20日	文化審議会著作権分科会出版関連小委員会（第9回）（文化庁講堂）
1月20日	楽譜・音楽書祭り2014 実行委員会（販売対策委員会&日本楽譜販売協会）
2月21日	楽譜・音楽書祭り2014 参加社説明会
3月18日	日本出版者協議会と理事会の懇談会
3月18日	理事会 26年度定時社員総会のスケジュール（運営委員会・理事会日程を含む） 楽器フェア展示ブース設営に関して
4月10日	JASRACとの情報交換会（JASRAC複製部、送信部・協会理事） 楽譜配信サイトについて（JASRAC送信部より）
5月2日	選挙管理委員会立ち上げ（理事補充選挙） 選挙管理委員 吉岡 聡 森嶋 聡 野田修市
5月15日	運営委員会・理事会
5月27日	理事補充選挙当選者確定
5月29日	2013年度定時社員総会（楽器会館）、懇親会（東京グランドパレス） 役員改選 理事長 堀家康雄／副理事長 笠井恒明／ 副理事長兼会計理事 木村一幸／理事 片岡博久／理事 岡部博司
6月24日	JASRAC使用料規程改訂に関する説明会（理事・監事）
6月24日	販売対策委員会 2014楽器フェア及び楽譜音楽書祭り2014について
6月27日	JCOPY 著作権法改正の説明会
7月17日	出版広報センター「著作権法改正の説明会」（講談社ホール）
7月18日	著作権講座（出版クラブ会館） テーマ 電子書籍に対応した出版権～著作権法の一部改正をうけて～ 第一部 出版権をめぐる著作権法の一部改正について（半田正夫）

2015年  
(平成27年)

	第二部 出版者の権利のゆくえとデジタルアーカイブ立国 (福井健策)
7月22日	理事会
8月28日	楽譜音楽書祭り2014 抽選会及び賞品発送
9月12日	理事会・運営委員会
9月17日	2014楽器フェア 販売コーナー参加希望社説明会
10月14日	文字活字文化推進機構「改正学校図書館法とこれからの課題を考える会」 (衆第一議員会館)
10月15日	日本書籍協会 「出版契約ひな型」出版社説明会 (講談社)
10月16日	理事会
11月21日 ～23日	2014楽器フェア 展示コーナー・アウトレットモールに出店 (東京ビックサイト)
11月28日	著作権研修会 (出版クラブ会館) テーマ 電子出版時代の著作権/図書館 ～買う?借りる?それともダウンロード?～ 第一部 「出版契約書ヒナ型」について (村瀬拓男) 第二部 図書館と著作権～今さら聞けない、でも知りたい～ (大武和夫) 第三部 「え、聞いてないよ、電子出版!で、知らないし、図書館のこと…」 (ケーススタディ) (著作権委員)
12月5日	理事会
12月19日	2014楽器フェア アウトレットモール参加社 まとめ
1月16日	楽譜音楽書祭り2015 実行委員会 (第1回)
1月20日	会報27号発行
2月3日	理事会・運営委員会
2月13日	楽譜音楽書祭り2015 実行委員会 (第2回)
2月19日	選挙管理委員会立ち上げ (定時役員選挙) 選挙管理委員 吉岡 聡 森嶋 聡 揚石明男
2月25日	制作委員会・DTP講習会 (音楽之友社ホール)
3月5日	楽譜音楽書祭り2015 参加希望社説明会
3月24日	理事会・運営委員会
3月31日	(有)ミュージックランド 会員資格取消し
4月30日	理事会・運営委員会
5月28日	2014年度定時社員総会 (楽器会館)、懇親会 (東京グランドパレス) 理事長 堀家康雄 (再任) / 副理事長兼会計責任理事 木村一幸 (再任) 副理事長 下條俊幸 (新任) / 理事 時枝 正 (新任) 理事 片岡博久 (再任) 監事 久保貴靖 (再任) / 監事 鈴木廣史 (再任)
6月10日	文化芸術推進穂フォーラムへ入会
6月25日	理事会
7月17日	著作権講座 (出版クラブ会館) テーマ インターネット/グローバル時代の著作権

	<p>第一部 インターネット/グローバル時代に問う、著作権の諸問題 (福井健策)</p> <p>第二部 「商標権について」～サウンドロゴなど新たな保護対象の拡充へ (小林利明)</p>
8月7日	販売対策委員会・広報委員会合同委員会「栗田出版販売に関する情報交換」
8月20日	理事会
8月25日	会報28号発行
9月15日	楽譜出版協会・JASRAC意見交換会
10月1日	(株)ジャパン・ミュージックワークス 入会
10月6日	楽譜音楽書祭り2015 参加社まとめ会
10月8日	文化芸術推進フォーラムシンポジウム 「実演芸術・劇場・映画の創造基盤をつくる」(衆議院第二議員会館)
10月22日	理事会
11月12日	文化芸術振興議員連盟シンポジウム「文化省創設への道筋」(東京美術倶楽部)
11月13日	著作権研修会(出版クラブ会館) テーマ デジタル時代の複製と配信 ～ネット配信の手続き、教育現場でのコピーほか～ 第一部 楽譜・音源・動画のインタラクティブ配信の現状と課題 (高橋淳人・JASRAC) 第二部 教育現場での著作物の複製 (大武和夫) 第三部 とこまでなら許される～ネット配信、学校でのコピーなど～ (ケーススタディ) (著作権委員)
11月17日	楽譜音楽書祭り2015 実行委員会まとめ
11月24日	J-COPY訪問 武田理事とJRRRCについて懇談
12月10日	理事会・運営委員会
12月16日	販売対策委員会 「2016年度楽譜音楽書祭り及び楽器フェア参加について」